

要 望 書 一 覧

- ・ 山形県
- ・ 山形市
- ・ 上山市
- ・ 天童市
- ・ 山形県私立幼稚園協会
- ・ 山形県保育協議会
- ・ 山形短期大学同窓会「耀」

以上

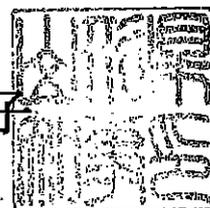
文部科学大臣 塩谷 立 殿

要 望 書

東北文教大学（仮称）の設置について

平成21年3月24日

山形県知事 吉村 美栄子



東北文教大学（仮称）の設置について

急速な少子化の進行や児童を取り巻く社会環境が大きく変化する中、次代を担う子どもの育成支援は、本県においても重要な課題となっております。

本県の「やまがた子育て愛プラン」においては、子育てを社会全体で支援する体制の確立、仕事と子育ての両立、子どもの健全育成等を基本目標の柱に掲げ、その実現に向けた各種施策を推進しているところであります。

学校法人富澤学園が新たな大学を設置し、幼・保・小連携に対応できる幅広い知識や、地域社会と積極的に関わりながら子育てを支援する高度な資質を備えた保育者・教育者を養成することは、本県施策に合致するところであります。

つきましては、同法人による東北文教大学（仮称）の設置を認可されるよう要望します。

学校法人富澤学園

理事長 内田 鏝一 様

要 望 書

貴学園は、昭和 41 年に山形短期大学を本市に開設され、以来 40 年に渡り、幾多の有為な人材を世に送り出しているその熱意と努力に対し、心から敬意を表するものであります。

少子化問題に加え、昨今の経済不況の中、これからの社会を担う子供達への支援は、本市においても重要課題であり、本市のまちづくりの基礎となる、「山形市第 7 次総合計画」においても、「社会全体で子育てを支援する仕組みづくり」を 6 つの重点課題の一つとして掲げ、社会全体で共に支える子育て環境の形成、保育サービスの充実、良好な教育環境の整備等に努めているところであります。

これらの施策の実現において、貴学園がこれまで取組まれてきた、短期大学による幼・保教育の一層の充実に加え、新たに小学校教育にも精通した総合教育力を身につけ、子供のみならず保護者に対する総合的な子育て支援や、地域社会に踏み出した積極的な連携を期待しているところです。

このような時期に、幼・保・小に繋がる一貫教育に関する知識を有し、地域社会との連携についても包括的な支援能力を有する、保育者・教育者の育成を目指す貴学園の四年制大学の新設は、本市のまちづくりに大きく寄与するものであります。

つきましては、貴学園の方針に基づき、平成 22 年 4 月より、四年制大学が新設されることを強く要望いたします。

平成 21 年 3 月 9 日

山形市長 市川 昭男



経企第292号の2
平成21年3月10日

学校法人富澤学園
理事長 内田 鎭 一 様

要 望 書

学校法人富澤学園におかれましては、姉妹団体である社会福祉法人「敬愛信の会」による上山あい保育園の開設と、山形短期大学による教育・保育活動への支援など、本市への協力に対し深く敬意を表するものであります。

本市におきましては、次代の社会を担う子どもたちが健やかに生まれ、育成される地域社会の形成を図るため、家庭・地域・企業が一体となって、子育て支援に関する総合的な取り組みを行っております。その中でも、保護者への支援や地域との連携は大きな課題となっており、魅力ある子育て支援の環境整備には、このような課題を解決する能力を持った人材の育成は必要不可欠であります。

こうした状況に鑑み、貴学園が家庭の教育力や積極的に地域住民との交流を深めながら地域社会の教育力を高める人材の育成を目指すことは、次代と地域の要請に応えるものと大いに期待を寄せるものであり、四年制の大学を新設されることを要望いたします。

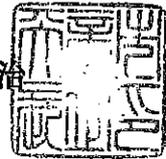
山形県上市市長 横 戸 長兵衛



平成21年3月18日

学校法人富澤学園
理事長 内田 鏖一 様

天童市長 山本 信治



要 望 書

早春の候 本市の行政運営につきましては、日ごろから、格別の御指導と御協力をいただき厚くお礼を申し上げます。

少子化と次世代の育成が課題となっている現在、本市においては子育て支援日本一のまちづくりを目指し、「新わらべプラン」(天童市次世代育成支援行動計画)に基づき、総合的な対策に取り組んでおります。この施策は「家庭の教育力の向上」と「地域の教育力の向上」を大きな柱としています。この取り組みには、教育・保育の施設における活動のみならず、家庭・学校・施設・地域などさまざまな連携が必要とされます。

とりわけ、子どもの健やかな成長を促す教育環境づくりにおいては教育機関相互の連携が必要であり、幼少期の連携として「幼小関連教育研究会」を実施し、幼稚園と小学校の円滑な接続教育にも取り組んでおります。

このような中、保護者支援など「家庭の教育力の向上」そして地域交流など「地域の教育力の向上」に資する人材を育成し、かつ幼稚園や保育所における保育と小学校における教育の特徴を理解しながら円滑な接続教育ができる人材の育成を目的とした貴学の四年制大学の新設は、本市の行動計画に合致するものであり、大いに期待を寄せるところであります。

したがって、貴園の四年制大学の新設を強く要望するものです。

平成 21 年 3 月 9 日

学校法人富澤学園

理事長 内田 鎧一 殿

要 望 書

わが国における少子化とそれへの国・地方公共団体の政策および社会経済状況の変化は、幼稚園教育に大きな課題を提起するとともに、危機的ともいえる環境変化をもたらしております。

幼児教育の重要性が再認識され、教育の質の確保と向上のため免許状更新制度の導入や免許状 2 種中心から 1 種への移行が進みつつあります。また、いわゆる幼保一元化は、経済効率ではなく真に子どもたちと保護者の視線に立って推進させる必要もあります。そして、幼稚園と小学校が連携し、生活や発達そして学びの連続性を目指した幼稚園教育と小学校教育のスムーズな連続性の確立も課題となっております。

このような状況の中、貴学園が幼児教育と小学校教育を学び、しかも保育の領域についても学習して幅広い視野と能力を持ち、優れた技術と対応力を持つ人材育成を目標に掲げて四年制大学を新設されることは、まことに時宜に適ったものと思います。

すこやかな子どもたちの育ちのためにも、貴学園が四年制大学を新設し、優れた教育者を養成されることを要望いたします。

社団法人山形県私立幼稚園協
山形県幼稚園教育研究協議会
会 長 佐 々 木



平成21年3月13日

学校法人富澤学園

理事長 内 田 鉄 一 殿

要 望 書

保育園は、子ども自身の成長を促すことでの子育て支援と、保護者の就労をサポートする子育て支援という社会の根幹的な役割を担ってまいりました。そして、現在急速に進む少子化に対する国や地方公共団体等が推進する施策においても、保育園は重要な役割を課せられております。

保育者の質の向上はもとより、第一義的な責任を有する保護者の相談に応じ、必要かつ適切な情報提供や助言などの援助を行うことが求められています。また、働きながら出産・育児が可能な環境の整備のため地域や企業・団体との協力・連携も必要であり、施設内にとどまらず幅広く地域と交流し地域との連携の中で保育を行う必要があります。さらには、養護と教育の一体化が求められており、保育能力のみならず、幼児教育への幅広い理解と認識がなければなりません。

貴学園におきましては、山形短期大学における保育士養成の一層の質の向上を図られるとともに、このような新たな課題に対応できる人材の育成を切に望むところであります。

この点にかんがみ、保育と教育の技術と能力そして深い識見と問題解決能力を有し、地域社会との交流を進め得る実践的能力を持つ人材の育成を目標にされた四年制大学は、保育園の課題に応えるものと期待いたします。

つきましては、四年制大学を新設し、このような課題に応えていただきたく要望するものであります。

山形県保育協議会

会 長 田 中 芳 晴



平成21年3月1日

学校法人富澤学園

理事長 内田 鉄 一 殿

山形短期大学同窓会「耀」

会 長 佐 藤 克



四年制大学の設置について（要望書）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

山形短期大学の卒業生は14,000人を超え、山形短期大学で学んだことを糧に社会で大いに活躍をいたしております。これも理事長先生・学長先生をはじめ多くの先生方のご教導のお陰だと感謝申し上げます。私ども同窓生にとって母校という存在は、何にも増して得がたい貴重な心のよりどころであり、母校の発展は私たち同窓生にとって何よりも望むところです。

さて、複雑で多様化した社会の中であって、私たち同窓生は短大で学んだことを生かして、より高い教養と高い資質を兼ね備えた職業人・社会人として歩んで生きたいと考えるものです。一方でこうした変化の激しい現代社会に対峙するためにも、後輩たちのためには、2年間という短い時間の中では修得し得なかった学問や研究課題に向き合っ
て欲しいとも考えます。そこで、より高度で専門的な教育の機会が得られるような四年制大学の設置を強く要望するものです。是非四年制大学の設置をお願いします。

もちろん、短期大学の必要性と社会で果たす役割も認識しております。幼稚園教諭や保育士、介護福祉士など資格が必要な職業に就きたい場合には、ともかくも必要な資格を地元にある短期大学で取得したいと願う人も多いことも承知しております。これらの学生たちの職業選択の上でも、短期大学教育は今までどおり存続していただきたいとあわせてお願いいたします。多様な教育の機会を準備していただければ幸いです。

後輩たちが社会で活躍することを祈り、また私たち先輩が後輩に対して支援を惜しまないことをお約束しますので、どうぞよろしくご検討くださるようお願いいたします。最後になりますが、後輩の学生たちそして母校のますますのご隆盛を祈念いたしております。

敬具

資料2. 教育理念と養成する人材像の構造図

《教育理念・目的》

学校法人富澤学園

人間性の基本原理としての「敬・愛・信」の精神を基盤とした人間教育を行うことを目的とする。

東北文教大学

豊かな人間性と創造力を兼ね備え、修得した高度な知識と優れた応用力を有し、地域社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。

人間科学部

人間および人間の営みについて、地域社会・心理・教育面から多角的に把握し、自ら問題点を見出し、解決策を探求し、柔軟に対応できる人材育成を目的とした教育を行う。

子ども教育学科

子どもの育ちに深い洞察力をもち、**保育・教育をデザイン**できる人材育成を目的とした教育を行う。

短期大学部

社会に関心を持ち、心に潤いをもちながら豊かな人間関係を築き、社会的責任を果たすことのできる人材の育成を目的とする。

総合文化学科

地域の社会や文化を理解し、尊重する人材の育成を行う。

子ども学科

子どもの健やかな育ちを守る実践的な保育者の育成を行う。

人間福祉学科

人間の尊厳と基本的人権を守る人材の育成を行う。

養成する人材像

1 保育・家庭教育力向上型

家庭における教育力を高めるべく、子どもの育ちにかかわる高度な専門的知識を有し、子どもや保護者を的確に支援できる人材。

2 学校・地域社会教育力向上型

子どもを取り巻く地域社会の教育力を高めるべく、地域にかかわる諸問題を理解し、リーダー的な立場で地域に貢献できる人材。

3 接続教育充実型

就学前教育と初等教育の円滑な接続教育を行うべく、乳幼児期から学童期の子どもの理解を深め、高い専門性と優れた判断力を有する人材。

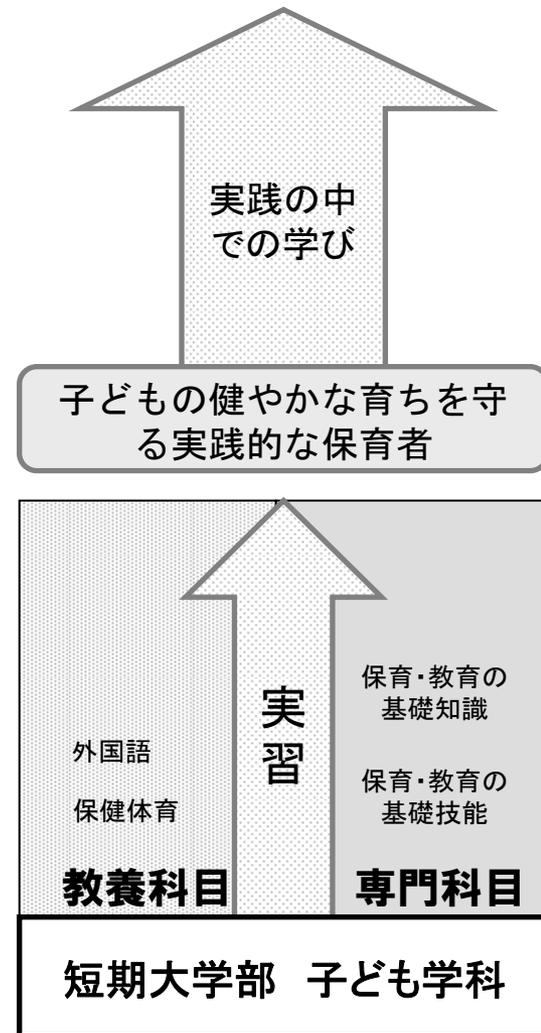
豊かな感性と人間性を兼ね備え、基本的知識や技術を活かし、職業および実生活で実践できる人材

人間と社会について総合的に理解し、コミュニケーション力、行動力、実践力を兼ね備えた職業人

子どもの育ちや保育についての基礎的知識を修得し、積極的に子どもを支援できる保育者

介護福祉における基礎的知識や技術を修得し、深い人間愛とコミュニケーション力を兼ね備えた職業人

資料3. 子ども教育学科 人材養成の構造図



資料4. 山形県における高等学校卒業生数、大学等進学者数、大学等進学率

(単位：人、%)

	卒業生数	大学等 進学者数	就職者総数		大学等 進学率	就職率	県内 就職率	(参考：全国)		
			うち県内 就職者数					大学等 進学率	就職率	県内 就職率
平成11年3月	14,961	5,275	5,025	3,966	35.3	33.6	78.9	44.2	20.2	79.5
平成12年3月	14,320	5,024	4,689	3,849	35.1	32.7	82.1	45.1	18.6	82.3
平成13年3月	14,159	5,076	4,612	3,869	35.8	32.6	83.9	45.1	18.4	82.7
平成14年3月	13,911	5,251	4,071	3,308	37.7	29.3	81.3	44.8	17.1	81.9
平成15年3月	13,980	5,334	3,948	3,165	38.2	28.2	80.2	44.6	16.6	82.4
平成16年3月	13,478	5,155	3,931	3,152	38.2	29.2	80.2	45.3	16.9	82.5
平成17年3月	13,527	5,433	3,877	3,118	40.2	28.7	80.4	47.3	17.4	81.6
平成18年3月	12,831	5,455	3,688	2,924	42.5	28.7	79.3	49.3	18.0	80.7
平成19年3月	12,960	5,715	3,740	2,823	44.1	28.9	75.5	51.2	18.5	79.8
平成20年3月	12,129	5,474	3,502	2,642	45.1	28.9	75.4	52.8	19.0	79.2

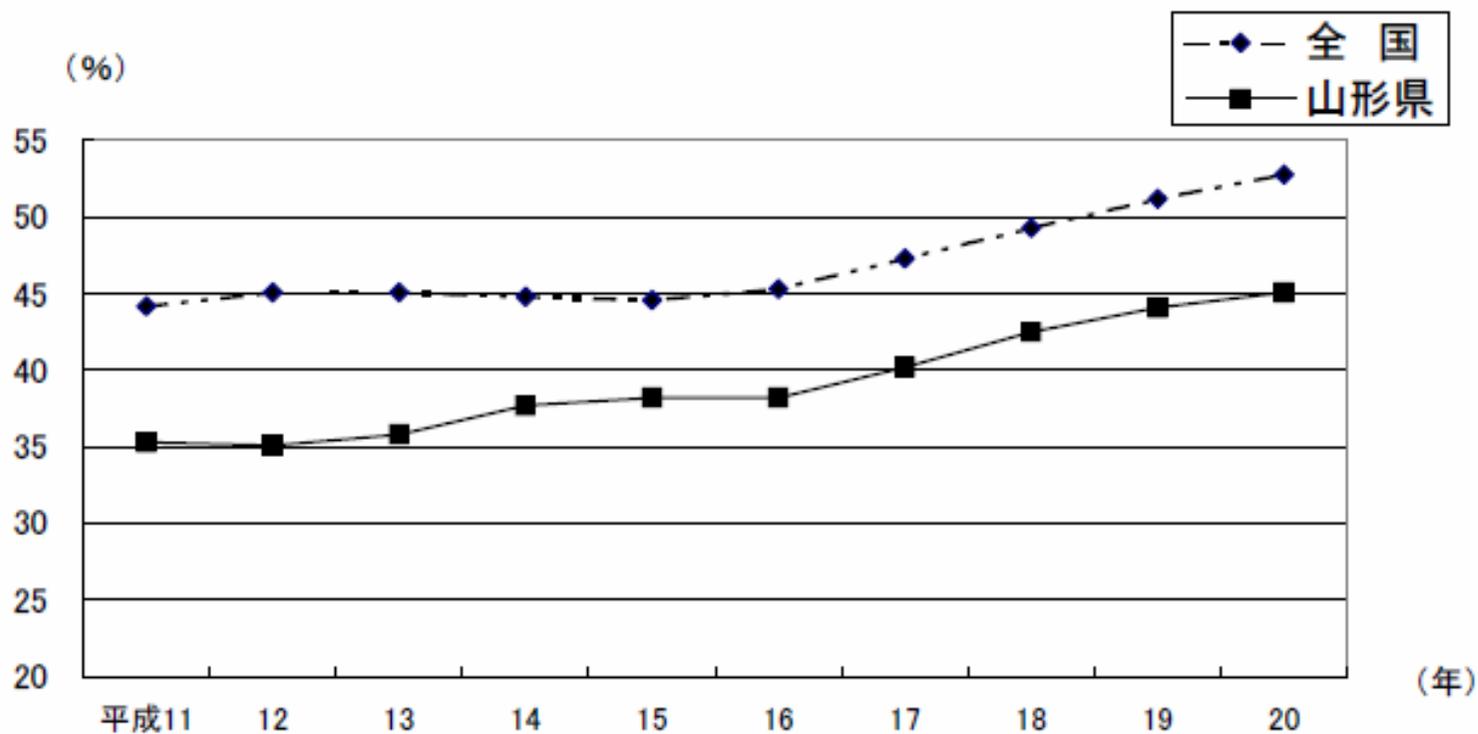
※就職者総数とは、就職者、就職進学者、専修学校等へ入学しつつ就職した者の合計数。

出典：平成20年度学校基本調査速報－平成20年5月1日現在－（平成20年8月山形県政策推進部統計企画課）

資料5. 大学進学率における全国平均と山形県の推移

(単位：%)

	平成11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
全 国	44.2	45.1	45.1	44.8	44.6	45.3	47.3	49.3	51.2	52.8
山形県	35.3	35.1	35.8	37.7	38.2	38.2	40.2	42.5	44.1	45.1



出典：平成20年度学校基本調査速報－平成20年5月1日現在－（平成20年8月山形県政策推進部統計企画課）

資料6. 山形県における大学（学部）および短期大学への進学者数と進学率の推移

区分	A 卒業生数			B Aのうち 大学等進学者数			C Bのうち 大学(学部) 進学者数			D Bのうち 短期大学(本科) 進学者数			E $B \div A \times 100$ 大学等 進学率(%)			F $C \div A \times 100$ 大学(学部) 進学率(%)			G $D \div A \times 100$ 短期大学(本科) 進学率(%)		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
平成10年3月	15,553	7,745	7,808	5,199	2,379	2,820	3,692	2,203	1,489	1,440	146	1,294	33.4	30.7	36.1	23.7	28.4	19.1	9.3	1.9	16.6
平成11年3月	14,961	7,291	7,670	5,275	2,405	2,870	3,844	2,272	1,572	1,372	114	1,258	35.3	33.0	37.4	25.7	31.2	20.5	9.2	1.6	16.4
平成12年3月	14,320	7,205	7,115	5,024	2,371	2,653	3,895	2,252	1,643	1,087	110	977	35.1	32.9	37.3	27.2	31.3	23.1	7.6	1.5	13.2
平成13年3月	14,159	7,069	7,090	5,076	2,439	2,637	3,979	2,320	1,659	1,041	104	937	35.8	34.5	37.2	28.1	32.8	23.4	7.4	1.5	13.2
平成14年3月	13,911	6,963	6,948	5,251	2,480	2,771	4,090	2,315	1,775	1,090	137	953	37.7	35.6	39.9	29.4	33.2	25.5	7.8	2.0	13.7
平成15年3月	13,980	7,032	6,948	5,334	2,608	2,726	4,239	2,450	1,789	1,012	124	888	38.2	37.1	39.2	30.3	34.8	25.7	7.2	1.8	12.8
平成16年3月	13,478	6,778	6,700	5,155	2,512	2,643	4,138	2,352	1,786	938	124	814	38.2	37.1	39.4	30.7	34.7	26.7	7.0	1.8	12.1
平成17年3月	13,527	6,873	6,654	5,433	2,649	2,784	4,309	2,479	1,830	1,039	133	906	40.2	38.5	41.8	31.9	36.1	27.5	7.7	1.9	13.6
平成18年3月	12,831	6,536	6,295	5,455	2,646	2,809	4,440	2,504	1,936	941	120	821	42.5	40.5	44.6	34.6	38.3	30.8	7.3	1.8	13.0
平成19年3月	12,960	6,598	6,362	5,715	2,811	2,904	4,725	2,663	2,062	917	113	804	44.1	42.6	45.6	36.5	40.4	32.4	7.1	1.7	12.6
平成20年3月	12,129	6,100	6,029	5,474	2,672	2,802	4,579	2,575	2,004	835	75	760	45.1	43.8	46.5	37.8	42.2	33.2	6.9	1.2	12.6

※『大学等進学者』とは、「大学(学部)」、「短期大学(本科)」、「大学・短期大学の通信教育部及び放送大学」、「大学・短期大学(別科)」、「高等学校(専攻科)」及び「特別支援学校高等部(専攻科)」へ進学した者及び進学しかつ就職した者をいう。

出典：平成20年度学校基本調査速報－平成20年5月1日現在－（平成20年8月山形県政策推進部統計企画課）

資料 7. 山形県における大学への進学者の県内進学数および県内進学率の推移

(人・%)

	卒業生数	大学等進学者数 (進学率)		就職者総数 (就職率)	
			うち県内 (県内進学率)		うち県内 (県内就職率)
平成18年3月	12,831	5455(42.5)	1,646(30.2)	3,688(28.7)	2,924(79.3)
平成19年3月	12,960	5715(44.1)	1,678(29.4)	3,740(28.9)	2,823(75.5)
平成20年3月	12,129	5474(45.1)	1,451(26.5)	3,502(28.9)	2,642(75.4)

出典：平成20年度学校基本調査速報－平成20年5月1日現在－（平成20年8月山形県政策推進部統計企画課）

資料 8. 四年制大学設置に関する地域ニーズ調査（高等学校編）

山形短期大学における4年制大学設置に関する
アンケート調査（高等学校編）

報告書

平成 20 年 1 月
丸善株式会社

目 次

1. アンケート調査の概要	1
1. 1. 調査目的	1
1. 2. 調査対象	1
1. 3. 実施時期	1
1. 4. 調査票回収状況	1
1. 5. 調査票回収高等学校一覧	2
2. 調査結果要旨	3
3. アンケート調査結果	4
3. 1. 単純集計	4
(3. 1. 1. 単純集計：全体	4
(3. 1. 2. 単純集計：「女性」「山形県在住」	20
3. 2. クロス集計	34
3. 3. 自由回答意見	42
(3. 3. 1. 自由回答意見要旨	42
(3. 3. 2. 頻出 150 語一覧	43
(3. 3. 3. 検出キーワード：センテンス一覧	44
(3. 3. 4. 全自由回答一覧	47
4. アンケート調査票	70

[1] 地域ニーズ調査の概要（要約）

1. 調査目的

学校法人富澤学園が計画している四年制大学に関して、高校生が期待する教育内容、進学意向等を的確に把握し、今後の計画推進のための参考資料とすることを調査目的とする。

2. 調査対象

山形県内を中心に、東北6県および新潟県内に所在する高校の2年生を対象にして調査を実施した。

3. 実施時期

平成19年9月～10月に調査を実施した。

4. 調査票回収状況

本調査では100校8540人を調査対象として調査票を配布した。その結果、76校5889人から調査票を回収することができた。回収率は69.0%である。

[2] 調査結果要旨（抜粋）

1. 属性について

- 回答者の性別内訳は、男性が4割弱、女性が6割強である。
- 回答者の約半数が山形県居住者である。
- 回答者の約6割が大学進学希望者である。

2. 希望進学分野について

- 「教育学・保育学関係」分野への回答者の進学意向は強いものとなった。

3. 希望する授業形態について

- 回答者の希望する授業形態は、実務と関連のある実践的な授業形態である。

4. 進学先決定時の判断材料について

- 回答者は、進学先決定の際には免許・資格・就職等、大学の出口（卒業時）の情報を判断材料にする可能性がある。

5. 心理・心理学に関する期待値の強さについて

- 回答者は、心理に関する科目に対して強い学習意向を持っている。
- 回答者は、心理に関する資格の取得に興味を持っている。
- 回答者は、心理学分野の高等教育機関への進学意向を比較的強く持っている。

6. 仮称人間科学部・子ども教育学科への興味・進学意向について

- 「人間科学部・子ども教育学科」に対して、約半数弱の回答者が興味を持ち、約2割の回答者が何らかの進学意向を持っている。

[3] 調査票回収高等学校一覧

No	都道府県名	高校名	No	都道府県名	高校名
1	山形県	山形学院高等学校	39	宮城県	涌谷高等学校
2	山形県	山形北高等学校	40	宮城県	佐沼高等学校
3	山形県	山形工業高等学校	41	宮城県	築館高等学校
4	山形県	山辺高等学校	42	宮城県	白石女子高等学校
5	山形県	山本学園高等学校	43	宮城県	宮城広瀬高等学校
6	山形県	左沢高等学校	44	宮城県	古川黎明高等学校
7	山形県	東海大学山形高等学校	45	宮城県	岩出山高等学校
8	山形県	日本大学山形高等学校	46	宮城県	仙台西高等学校
9	山形県	山形市立商業高等学校	47	宮城県	気仙沼高等学校
10	山形県	山形中央高等学校	48	宮城県	角田高等学校
11	山形県	寒河江高等学校	49	宮城県	村田高等学校
12	山形県	米沢商業高等学校	50	秋田県	秋田西高等学校
13	山形県	九里学園高等学校	51	秋田県	新屋高等学校
14	山形県	米沢中央高等学校	52	秋田県	湯沢北高等学校
15	山形県	米沢東高等学校	53	秋田県	横手城南高等学校
16	山形県	高畠高等学校	54	秋田県	角館南高等学校
17	山形県	南陽高等学校	55	秋田県	由利高等学校
18	山形県	荒砥高等学校	56	秋田県	仁賀保高等学校
19	山形県	長井高等学校	57	秋田県	湯沢高等学校
20	山形県	天童高等学校	58	秋田県	国学館高等学校
21	山形県	楯岡高等学校	59	秋田県	増田高等学校
22	山形県	新庄北高等学校	60	岩手県	盛岡市立高等学校
23	山形県	新庄南高等学校	61	岩手県	釜石南高等学校
24	山形県	鶴岡中央高等学校	62	岩手県	盛岡中央高等学校
25	山形県	鶴岡東高等学校	63	岩手県	宮古高等学校
26	山形県	鶴岡北高等学校	64	岩手県	高田高等学校
27	山形県	羽黒高等学校	65	岩手県	黒沢尻北高等学校
28	山形県	酒田西高等学校	66	福島県	保原高等学校
29	山形県	酒田南高等学校	67	福島県	福島県東稜高等学校
30	山形県	上山明新館高等学校	68	福島県	郡山高等学校
31	山形県	谷地高等学校	69	新潟県	新潟県東高等学校
32	山形県	酒田中央高等学校	70	新潟県	新発田南高等学校
33	山形県	山形西高等学校	71	新潟県	阿賀野高等学校
34	山形県	山形城北高等学校	72	新潟県	中条高等学校
35	宮城県	名取北高等学校	73	新潟県	加茂高等学校
36	宮城県	第三女子高等学校	74	新潟県	村上桜ヶ丘高等学校
37	宮城県	聖ウルスラ学院英智高等学校	75	青森県	八戸西高等学校
38	宮城県	塩釜女子高等学校	76	青森県	弘前実業高等学校

[4] 集計結果（抜粋）

1. 全体の集計結果

問3：高校卒業後の進路

回答者（5889人）の「高校卒業後の希望進路」については、「大学進学」が3428人（58.4%）と最も多く、次いで「専門学校進学」が1048人（17.9%）、「就職」が748人（12.7%）、「短期大学進学」が569人（9.7%）、「その他」が74人（1.3%）の順となった。

回答者の約6割が大学進学を希望している。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	大学進学	3428	58.2	58.4
2	短期大学進学	569	9.7	9.7
3	専門学校進学	1048	17.8	17.9
4	就職	748	12.7	12.7
5	その他	74	1.3	1.3
	不明	22	0.4	
	サンプル数(%ベース)	5889	100	5867

問4：進学希望分野

回答者に「進学希望分野」について伺ったところ、第1志望に関しては、「教育学・保育学関係」が741人（13.5%）と最も多く、次いで「文学関係（史学、哲学等含む）」が573人（10.4%）、「商学・経済学・経営学関係」が489人（8.9%）、「芸術学関係」が382人（6.9%）、「看護学関係」が366人（6.6%）の順となった。

第1希望では、「教育学・保育学関係」に関する進学意向が強い。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	文学関係(史学、哲学等含む)	573	9.7	10.4
2	外国語関係	359	6.1	6.5
3	教育学・保育学関係	741	12.6	13.5
4	心理学関係	229	3.9	4.2
5	法学・政治学関係	196	3.3	3.6
6	商学・経済学・経営学関係	489	8.3	8.9
7	社会学・福祉学関係	349	5.9	6.3
8	理学関係	134	2.3	2.4
9	工学関係	326	5.5	5.9
10	農学関係	98	1.7	1.8
11	医学・歯学・薬学関係	138	2.3	2.5
12	看護学関係	366	6.2	6.6
13	医療技術学関係(理学療法、作業療法等)	237	4.0	4.3
14	食物学・栄養学関係	270	4.6	4.9
15	家政学関係(被服・住居)	74	1.3	1.3
16	体育学・健康科学関係	200	3.4	3.6
17	芸術学関係	382	6.5	6.9
18	その他	344	5.8	6.2
	不明	384	6.5	
	サンプル数(%ベース)	5889	100	5505

問6：関心のある授業形態（複数回答）

回答者（5889人）に「関心のある授業形態」について伺ったところ、「現場で実践する実習型の授業」と回答した者が3315人（58.0%）と最も多かった。次いで「教室内で行う講義中心の授業」が2720人（47.6%）、「共同で作業をするグループワーク型授業」が2139人（37.5%）、「教室内で課題に取り組む演習型の授業」が1799人（31.5%）、「実験室で行う実験中心の授業」が1763人（30.9%）の順となった。

回答者は、現場・実務との関連のある実践的な授業に関心を持っているものと思われる。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	教室内で行う講義中心の授業	2720	46.2	47.6
2	教室内で課題に取り組む演習型の授業	1799	30.5	31.5
3	実験室で行う実験中心の授業	1763	29.9	30.9
4	現場で実践する実習型の授業	3315	56.3	58.0
5	企業や役所等で実習するインターンシップ型授業	1572	26.7	27.5
6	自然の観察や調査を含む自然体験型の授業	999	17.0	17.5
7	共同で作業をするグループワーク型授業	2139	36.3	37.5
8	地域社会の人たちから学ぶ社会体験型授業	1153	19.6	20.2
9	さまざまな調査や観察をする調査型授業	836	14.2	14.6
10	その他	57	1.0	1.0
	不明	178	3.0	
	サンプル数(%ベース)	5889	100	5711

問7：学んでみたい科目（複数回答）

回答者（5889人）に「学んでみたい科目」について伺ったところ、「人間関係の心理に関する科目」と回答した者が2731人（49.2%）と最も多かった。次いで「コミュニケーション力を高める科目」が1592人（28.7%）、「英会話能力を高める科目」が1289人（23.2%）、「イベントなどの企画力を高める科目」が1252人（22.6%）、「考える力を高める科目」が1228人（22.1%）の順となった。

回答者の約半数は、心理に関する科目に学習意向を持っているものと思われる。同時に、約半数の回答者が、対人間関係に関する科目に学習意向を持っているものと思われる。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	自然環境に関する科目	1189	20.2	21.4
2	地域の産業に関する科目	542	9.2	9.8
3	身体表現に関する科目	741	12.6	13.4
4	人間関係の心理に関する科目	2731	46.4	49.2
5	考える力を高める科目	1228	20.9	22.1
6	英会話能力を高める科目	1289	21.9	23.2
7	異文化理解に関する科目	1002	17.0	18.1
8	日本文化に関する科目	1050	17.8	18.9
9	教育問題に関する科目	988	16.8	17.8
10	コミュニケーション力を高める科目	1592	27.0	28.7
11	カウンセリングに関する科目	1101	18.7	19.8
12	日本語表現力を高める科目	775	13.2	14.0
13	イベントなどの企画力を高める科目	1252	21.3	22.6
14	その他	118	2.0	2.1
	不明	340	5.8	
	サンプル数(%ベース)	5889	100	5549

問8：「人間科学部 子ども教育学科」への興味

回答者（5889人）に「人間科学部・子ども教育学科への興味」について伺ったところ、「少し興味を感じる」と回答した者が1475人（25.9%）と最も多かった。次いで「興味を感じない」が1309人（23.0%）、「興味を感じる」が1078人（18.9%）、「ふつう」が

1029人(18.1%)、「わからない」が805人(14.1%)の順となった。

回答者の約半数弱が、人間科学部・子ども教育学科に対して、何らかの興味を

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	興味を感じる	1078	18.3	18.9
2	少し興味を感じる	1475	25.0	25.9
3	ふつう	1029	17.5	18.1
4	興味を感じない	1309	22.2	23.0
5	わからない	805	13.7	14.1
	不明	193	3.3	
	サンプル数(%ベース)	5889	100	5696

問9：「人間科学部 子ども教育学科」への進学希望

回答者(5889人)に「人間科学部・子ども教育学科への進学希望」について伺ったところ、「進学を希望しない」と回答した者が2781人(49.0%)と最も多かった。次いで「わからない」が1658人(29.2%)、「受験先の候補の一つとして考えてみたい」が597人(10.5%)、「一応進学を考えてみたい」が372人(6.5%)、「進学を希望したい」が257人(4.5%)の順となった。

回答者の約2割強が、人間科学部・子ども教育学科に対して、何らかの進学意向を持っている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	進学を希望したい	257	4.4	4.5
2	一応進学を考えてみたい	372	6.3	6.5
3	受験先の候補の一つとして考えてみたい	597	10.1	10.5
4	進学を希望しない	2781	47.2	49.0
5	わからない	1658	28.2	29.2
6	その他	16	0.3	0.3
	不明	208	3.5	
	サンプル数(%ベース)	5889	100	5681

2. 山形県内在住の女子高校生の集計結果

問8：「人間科学部 子ども教育学科」への興味

回答者(1783人)に「人間科学部・子ども教育学科への興味」について伺ったところ、「少し興味を感じる」と回答した者が477人(28.0%)と最も多かった。次いで「興味を感じる」が359人(21.1%)、「興味を感じない」が341人(20.0%)、「ふつう」が324人(19.0%)、「わからない」が200人(11.8%)の順となった。

山形県在住の女性回答者の約半数が、人間科学部・子ども教育学科に対して興味を持っている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	興味を感じる	359	20.1	21.1
2	少し興味を感じる	477	26.8	28.0
3	ふつう	324	18.2	19.0
4	興味を感じない	341	19.1	20.0
5	わからない	200	11.2	11.8
	不明	82	4.6	
	サンプル数(%ベース)	1783	100	1701

問9：「人間科学部 子ども教育学科」への進学希望

回答者（1783人）に「人間科学部・子ども教育学科への進学希望」について伺ったところ、「進学を希望しない」と回答した者が883人（52.0%）と最も多かった。次いで「わからない」が414人（24.4%）、「受験先の候補の一つとして考えてみたい」が192人（11.3%）、「一応進学を考えてみたい」が126人（7.4%）、「進学を希望したい」が78人（4.6%）の順となった。

山形県在住の女性 回答者の約2割が、人間科学部・子ども教育学科に対して、何らかの進学意向を持っている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	進学を希望したい	78	4.4	4.6
2	一応進学を考えてみたい	126	7.1	7.4
3	受験先の候補の一つとして考えてみたい	192	10.8	11.3
4	進学を希望しない	883	49.5	52.0
5	わからない	414	23.2	24.4
6	その他	6	0.3	0.4
	不明	84	4.7	
	サンプル数(%ベース)	1783	100	1699

3. 全自由回答（抜粋）

- 山短は短大というだけで候補から外れていたのが四年制になるなら進学を考えたいので、早めに結果を出してほしい。
- 教育学科なので、教育現場を体験する授業を多くとり入れたらいいと思います。
- 私の興味がある学科があり、とても魅力を感じます。ぜひ進学したい。
- 幼稚園教諭は今、希望者が多いのでとても良いと思う。自分にとって近場なのできたら嬉しい。
- 県内にはあまり4年制大学がないのでいいことだと思います。
- 心理学も幅広く学べる大学がいいと思う。
- 4年制になることでより深い知識などを学べると思うのでいいと思います。
- 4年制にするのはいいと思います。取得可能な資格が多いところがみりよ的です。
- 短期大学で幼稚園教諭一種免許と保育士免許が取得できるのは魅力的だと思う。
- 設置してもいいと思う。近所で大学が増えるのは、それだけ将来、選択出来る大学

が増えるので、ぜひ

- 定員がもっと多くても良いと思う。4年制大学を作ってしまったら短期大学ではなくないので、名前を変えるべきか、実行しない方が良いと思う。
- ぜひ県内の大学を増やしてほしい。
- もし、4年制大学になるのだったら皆こぞって進学を目指すと思うので是非実行してください、期待しています。
- 是非地域の為にも作ってほしい。
- 4年制大学にすることによって、問10などの資格を取れるのであれば、より優れた保育者などを養成できるのであれば私は賛成です。
- 私が受験するときできていればぜひ進学したいです。
- とてもいい計画だと思います。私が第一希望にしてる分野なので興味があります。
- 現代では子どもの教育というのがとても重視されなければいけない時代だと思うので教育機関をつくりより深く子どもを理解できる様な学校になったらいいと思います。
- 小学校教諭や幼稚園教諭をめざしている人にとってはとても良い学部、学科だと思います。

4. 地域ニーズ調査票（回答欄省略）

山形短期大学における4年制大学設置に関する地域ニーズ調査票

最近、教育の質的向上のため幼稚園・保育所・小学校の連携が重視されるようになり、小学校教育が理解できる保育者、および保育が理解できる小学校教諭が求められるようになってきました。

そこで、山形短期大学では、小学校教諭1種免許、幼稚園教諭1種免許、保育士資格が取得できる4年制大学「人間科学部 子ども教育学科」を開設し、優れた保育者や小学校教諭を養成することを計画しています。

このアンケート調査は、高校生の皆様の卒業後の進路等に関する意向等を把握し、山形短期大学における4年制大学設置計画の基礎資料とするものです。皆様のご協力をお願いいたします。

なお、この調査票は無記名方式です。また、結果はコンピュータにより処理され、統計資料としてのみ用い、個票を外部に公表したり他の目的のために使用したりすることはありません。

回答は設問の順に該当する選択肢番号を回答欄に直接記入してください。

<4年制大学の概要>

- 学部・学科・・・・・・・・人間科学部 子ども教育学科
- 入学定員・・・・・・・・定員80名
- 取得可能な免許・資格・・・・小学校教諭1種免許、幼稚園教諭1種免許、保育士、その他

問1 あなたの性別についておたずねします。

- 1 男性
- 2 女性

問2 あなたのお住まいについておたずねします。

- | | |
|-------|-------------|
| 1 山形県 | 5 秋田県 |
| 2 青森県 | 6 福島県 |
| 3 岩手県 | 7 新潟県 |
| 4 宮城県 | 8 その他（具体的に） |

問3 あなたの進路についておたずねします。

あなたは高校卒業後どのような進路をお考えですか。次の中から1つだけ選んでください。

- | | |
|----------|-------------|
| 1 大学進学 | 4 就職 |
| 2 短期大学進学 | 5 その他（具体的に） |
| 3 専門学校進学 | |

問4 あなたが進学したいと考えている分野はどれですか。次の中から第2希望まで選んでください。

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1 文学関係（史学、哲学等含む） | 10 農学関係 |
| 2 外国語関係 | 11 医学・歯学・薬学関係 |
| 3 教育学・保育学関係 | 12 看護学関係 |
| 4 心理学関係 | 13 医療技術学関係（理学療法、作業療法等） |
| 5 法学・政治学関係 | 14 食物学・栄養学関係 |
| 6 商学・経済学・経営学関係 | 15 家政学関係（被服・住居） |
| 7 社会学・福祉学関係 | 16 体育学・健康科学関係 |
| 8 理学関係 | 17 芸術学関係 |
| 9 工学関係 | 18 その他（具体的に） |

問5 あなたが進学先を決定する際に重視することはどれですか。次の中から3つまで選んでください。

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1 学校の所在地 | 6 入試難易度・入試科目 |
| 2 取得できる免許・資格 | 7 担任や進路指導教員の意見 |
| 3 就職実績 | 8 家族（親や兄弟姉妹）の意見 |
| 4 学費（入学金・授業料） | 9 現役大学生や卒業生等の意見 |
| 5 教員の充実度 | 10 その他（具体的に） |

問6 あなたが関心のある授業形態はどのようなものですか。次の中から3つまで選んでください。

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1 教室内で行う講義中心の授業 | 6 自然の観察や調査を含む自然体験型の授業 |
| 2 教室内で課題に取り組む演習型の授業 | 7 共同で作業をするグループワーク型授業 |
| 3 実験室で行う実験中心の授業 | 8 地域社会の人たちから学ぶ社会体験型授業 |
| 4 現場で実践する実習型の授業 | 9 さまざまな調査や観察をする調査型授業 |
| 5 企業や役所等で実習するイン | 10 その他（具体的に） |

ターンシップ型授業

問7 あなたが学んでみたい科目があれば、次の中から3つまで選んでください。

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1 自然環境に関する科目 | 8 日本文化に関する科目 |
| 2 地域の産業に関する科目 | 9 教育問題に関する科目 |
| 3 身体表現に関する科目 | 10 コミュニケーション力を高める科目 |
| 4 人間関係の心理に関する科目 | 11 カウンセリングに関する科目 |
| 5 考える力を高める科目 | 12 日本語表現力を高める科目 |
| 6 英会話能力を高める科目 | 13 イベントなどの企画力を高める科目 |
| 7 異文化理解に関する科目 | 14 その他（具体的に) |

【現在計画中の4年制大学についておたずねします】

問8 あなたは「人間科学部 子ども教育学科」に興味がありますか。次の中から1つだけ選んでください。

- | | |
|------------|-----------|
| 1 興味を感じる | 4 興味を感じない |
| 2 少し興味を感じる | 5 わからない |
| 3 ふう | |

問9 あなたは「人間科学部 子ども教育学科」への進学を希望したいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

- | | |
|----------------------|--------------|
| 1 進学を希望したい | 4 進学を希望しない |
| 2 一応進学を考えてみたい | 5 わからない |
| 3 受験先の候補の一つとして考えてみたい | 6 その他（具体的に) |

問10 問9で1～3のいずれかを回答した方におたずねします。4～6を回答した方は問11へお進みください。

「人間科学部 子ども教育学科」では、小学校教諭1種免許、幼稚園教諭1種免許、保育士資格が取得できる計画をしていますが、このほかに取得してみたい資格について、希望の強いものから順に3つ選んでください。

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1 ピアヘルパー | 6 認定ベビーシッター |
| 2 カウンセリング実務士 | 7 レクリエーションインストラクター |
| 3 情報処理士 | 8 キャンプインストラクター |
| 4 ビジネス実務士 | 9 医療秘書士 |
| 5 観光ビジネス実務士 | 10 その他（具体的に) |

問11 計画中の4年制大学について、ご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にお書き下さい。

*** これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。 ***

資料 9. 四年制大学設置に関する地域ニーズ調査（事業所編）

山形短期大学における4年制大学設置に関する
アンケート調査（事業所編）

報告書

平成 20 年 1 月

丸善株式会社

目 次

1. アンケート調査の概要	1
1. 1. 調査目的	1
1. 2. 調査対象	1
1. 3. 実施時期	1
1. 4. 調査票回収状況	1
1. 5. 調査票回収 323 事業所一覧	2
2. 調査結果要旨	5
3. アンケート調査結果	6
3. 1. 単純集計	6
3. 2. クロス集計	21
3. 3. 自由回答意見	25
(3. 3. 1. 自由回答意見要旨	25
(3. 3. 2. 頻出 150 語一覧	26
(3. 3. 3. 検出キーワード：センテンス一覧	27
(3. 3. 4. 全自由回答一覧	37
4. アンケート調査票	42

[1] 地域ニーズ調査の概要（要約）

1. 調査目的

学校法人富澤学園が計画している四年制大学「人間科学部 子ども教育学科（仮称）」に関して、事業所が期待する教育内容・人材像、当学部卒業所定者に対する採用意向等を的確に把握し、今後の計画推進のための参考資料とすることを調査目的とする。

2. 調査対象

山形県・秋田県・岩手県・宮城県・福島県に所在する幼稚園・保育所・地方自治体・民間企業・社会福祉施設等の事業所を対象にして調査を実施した。

3. 実施時期

平成19年11月～12月に調査を実施した。

4. 調査票回収状況

本調査では509事業所を調査対象として調査票を配布した。その結果、323事業所から調査票を回収することができた。回収率は63.4%である。

[2] 調査結果要旨（抜粋）

1. 回答事業所の事業形態について

○回答事業所の事業形態については、全回答事業所のうち、「幼稚園」と「保育園」がそれぞれ約3割を占めている。

2. 回答事業所の所在地について

○回答事業所の約7割強が、「山形県」所在の事業所である。

3. 回答事業所の過去3年間の正規職員採用数について

○組織規模の小さな事業所が、回答の大半を占めているため、過去3年間の正規職員採用数も、少人数採用が主体となっている。また年度を追う毎に採用数は増加している。

4. 回答事業所の特に期待する授業形態と授業科目について

○回答事業所は、「現場で実践する実習型の授業」を最も期待している。

○回答事業所は、「コミュニケーション力を高める科目」を最も期待している。

5. 回答事業所の「人間科学部子ども教育学科」に対する興味について

○回答事業所の約7割が、「人間科学部子ども教育学科」に何らかの興味を感じている。

6. 回答事業所の「人間科学部子ども教育学科」卒業生に対する採用意向について

○回答事業所の約5割強が、「人間科学部子ども教育学科」卒業予定者に対して、何らかの採用意向を持っている。

[3] 調査票回収 323 事業所一覧

No	都道府県	事業形態	事業所名	No	都道府県	事業形態	事業所名
1	秋田県	幼稚園	湯尺若草幼稚園	55	山形県	幼稚園	山形大学教育学部附属幼稚園
2	秋田県	幼稚園	御所原幼稚園	56	山形県	幼稚園	山形聖マリア幼稚園
3	秋田県	幼稚園	愛宕幼稚園	57	山形県	幼稚園	最上町立みつゝみ幼稚園
4	秋田県	幼稚園	仁賀保幼稚園	58	山形県	幼稚園	最上町立あかこども園
5	秋田県	幼稚園	仁井田幼稚園	59	山形県	幼稚園	広井郷幼稚園
6	秋田県	幼稚園	なかよし幼稚園	60	山形県	幼稚園	戸塚山幼稚園
7	秋田県	幼稚園	山王幼稚園	61	山形県	幼稚園	九里幼稚園
8	秋田県	幼稚園	秋田大学教育文化学部附属幼稚園	62	山形県	幼稚園	金沢幼稚園
9	秋田県	保育所	浅舞感徳萬保育園	63	山形県	幼稚園	寒町江幼稚園
10	秋田県	保育所	四ノ屋保育園	64	山形県	幼稚園	寒町江第二幼稚園
11	秋田県	保育所	下鶴倉保育所	65	山形県	幼稚園	寒町江大谷幼稚園
12	秋田県	保育所	三輪保育園	66	山形県	幼稚園	花園幼稚園
13	秋田県	保育所	(福)広済会 湯尺保育園	67	山形県	幼稚園	河北幼稚園
14	秋田県	地方自治体	由利町	68	山形県	幼稚園	河北町立薄田幼稚園
15	秋田県	地方自治体	仙北町	69	山形県	幼稚園	羽野学園短期大学附属第1幼稚園
16	秋田県	民間企業	秋田豆腐工業株式会社	70	山形県	幼稚園	羽野学園短期大学附属第2幼稚園
17	山形県	幼稚園	和光幼稚園	71	山形県	幼稚園	羽野学園短期大学附属大宝幼稚園
18	山形県	幼稚園	遊佐幼稚園	72	山形県	幼稚園	羽野学園短期大学附属たかすま幼稚園
19	山形県	幼稚園	米沢幼稚園	73	山形県	幼稚園	最上町立あかこ幼稚園
20	山形県	幼稚園	尾花沢幼稚園	74	山形県	幼稚園	めがえ幼稚園
21	山形県	幼稚園	飯豊町立いしで中音幼稚園	75	山形県	幼稚園	みどり幼稚園
22	山形県	幼稚園	飯豊町立手ノ子幼稚園	76	山形県	幼稚園	三ノ町立みかす幼稚園
23	山形県	幼稚園	南沼京ひまわり幼稚園	77	山形県	幼稚園	マリア幼稚園
24	山形県	幼稚園	南山幼稚園	78	山形県	幼稚園	まつかす幼稚園
25	山形県	幼稚園	南光幼稚園	79	山形県	幼稚園	ひまわり幼稚園
26	山形県	幼稚園	天童幼稚園	80	山形県	幼稚園	ひまわり幼稚園
27	山形県	幼稚園	天童東幼稚園	81	山形県	幼稚園	ひかり幼稚園
28	山形県	幼稚園	天童東第二幼稚園	82	山形県	幼稚園	ひかり幼稚園
29	山形県	幼稚園	天童みどり幼稚園	83	山形県	幼稚園	南陽市立赤湯幼稚園
30	山形県	幼稚園	天真幼稚園	84	山形県	幼稚園	鶴岡市立大東幼稚園
31	山形県	幼稚園	鶴岡幼稚園	85	山形県	幼稚園	鶴岡市立泉幼稚園
32	山形県	幼稚園	鶴岡市立西郷幼稚園	86	山形県	幼稚園	つばめ幼稚園
33	山形県	幼稚園	鶴岡市立大山幼稚園	87	山形県	幼稚園	たちばな幼稚園
34	山形県	幼稚園	大谷幼稚園	88	山形県	幼稚園	千歳幼稚園
35	山形県	幼稚園	大手幼稚園	89	山形県	幼稚園	庄内町立余目第一幼稚園
36	山形県	幼稚園	大江幼稚園	90	山形県	幼稚園	庄内町立余目第二幼稚園
37	山形県	幼稚園	川辺町立北斗幼稚園	91	山形県	幼稚園	庄内町立守山幼稚園
38	山形県	幼稚園	川辺町立吉島幼稚園	92	山形県	幼稚園	さかひ幼稚園
39	山形県	幼稚園	川辺町立中郡幼稚園	93	山形県	幼稚園	さくらんぼ幼稚園
40	山形県	幼稚園	杉の子幼稚園	94	山形県	幼稚園	蔵善幼稚園
41	山形県	幼稚園	調庭幼稚園	95	山形県	幼稚園	河北町立西里幼稚園
42	山形県	幼稚園	神田幼稚園	96	山形県	幼稚園	かしのみ幼稚園
43	山形県	幼稚園	浄徳幼稚園	97	山形県	幼稚園	アテナ幼稚園
44	山形県	幼稚園	城守幼稚園	98	山形県	幼稚園	あけぼの幼稚園
45	山形県	幼稚園	松波大谷幼稚園	99	山形県	幼稚園	あおぞら幼稚園
46	山形県	幼稚園	小中幼稚園	100	山形県	幼稚園	へびこぶ幼稚園
47	山形県	幼稚園	楯岡幼稚園	101	山形県	幼稚園	鶴岡市立こたま幼稚園
48	山形県	幼稚園	出羽大谷幼稚園	102	山形県	保育所	ルンビーニ保育園
49	山形県	幼稚園	酒田幼稚園	103	山形県	保育所	立正保育園
50	山形県	幼稚園	酒田第二幼稚園	104	山形県	保育所	米沢中央保育園
51	山形県	幼稚園	酒田双葉幼稚園	105	山形県	保育所	湯田川保育園
52	山形県	幼稚園	若菜幼稚園	106	山形県	保育所	山上保育園
53	山形県	幼稚園	若草幼稚園	107	山形県	保育所	山形県南保育園
54	山形県	幼稚園	山形大学短期大学附属幼稚園	108	山形県	保育所	森の子園保育所

No	都道府県	事業形態	事業所名	No	都道府県	事業形態	事業所名
109	山形県	保育所	明星保育園	163	山形県	保育所	木の実保育園
110	山形県	保育所	宮内双葉保育園	164	山形県	保育所	木の実西館保育園
111	山形県	保育所	宮内乳幼児保育センター	165	山形県	保育所	北平田保育園
112	山形県	保育所	南山形すくすく保育園	166	山形県	保育所	かもめ保育園
113	山形県	保育所	マリアこまくさ保育園	167	山形県	保育所	大山保育園
114	山形県	保育所	松ヶ岬保育園	168	山形県	保育所	上田保育園
115	山形県	保育所	ほろみ保育園	169	山形県	保育所	泉保育園
116	山形県	保育所	ほろみ保育園	170	山形県	保育所	あらと保育園
117	山形県	保育所	プチハウス	171	山形県	保育所	あゆみこども園
118	山形県	保育所	ふたば保育園	172	山形県	保育所	赤湯ふたば保育園
119	山形県	保育所	広野保育園	173	山形県	保育所	赤湯乳幼児保育センター
120	山形県	保育所	ひまわり保育園	174	山形県	保育所	ペコま保育園
121	山形県	保育所	ひまわり保育園	175	山形県	保育所	栄保育園
122	山形県	保育所	ひまわり保育園	176	山形県	保育所	上山あし保育園
123	山形県	保育所	ハリス保育園	177	山形県	民間企業	米澤信用金庫
124	山形県	保育所	浜中保育園	178	山形県	民間企業	山形タクシー株式会社
125	山形県	保育所	はなぞの保育園	179	山形県	民間企業	山形須藤株式会社
126	山形県	保育所	白山保育園	180	山形県	民間企業	山形農薬協同組合
127	山形県	保育所	緑ヶ原保育園	181	山形県	民間企業	山形日産自動車株式会社
128	山形県	保育所	西荒瀬保育園	182	山形県	民間企業	山形フジエレクトロニクス株式会社
129	山形県	保育所	中平田保育園	183	山形県	民間企業	山形ダイエー販売株式会社
130	山形県	保育所	道新保育園	184	山形県	民間企業	山形信用金庫
131	山形県	保育所	出羽保育園	185	山形県	民間企業	山形須藤株式会社
132	山形県	保育所	つし保育園	186	山形県	民間企業	山形警備隊株式会社
133	山形県	保育所	千歳保育園	187	山形県	民間企業	ミクロン精密株式会社
134	山形県	保育所	千歳のひまわり保育園	188	山形県	民間企業	プリンスホテル山形支店株式会社
135	山形県	保育所	たんぽぽ保育園	189	山形県	民間企業	藤井印刷株式会社
136	山形県	保育所	たつのこ保育園	190	山形県	民間企業	弘栄設備工業株式会社
137	山形県	保育所	高島保育園	191	山形県	民間企業	日東ベスト株式会社
138	山形県	保育所	西館障子園	192	山形県	民間企業	日本生命保険相互会社
139	山形県	保育所	すみれ保育園	193	山形県	民間企業	トヨタコーラ山形株式会社
140	山形県	保育所	すくすく保育園	194	山形県	民間企業	東北萬国社株式会社
141	山形県	保育所	杉の子保育園	195	山形県	民間企業	第一貨物株式会社
142	山形県	保育所	新堀保育園	196	山形県	民間企業	社会福祉法人恩賜相互済生会支部山形県済生会
143	山形県	保育所	新研保育園	197	山形県	民間企業	シベール株式会社
144	山形県	保育所	白百合保育園	198	山形県	民間企業	近畿日本ソーリスト山形支店
145	山形県	保育所	白ゆり保育園	199	山形県	民間企業	北信信用組合
146	山形県	保育所	常念寺保育園	200	山形県	民間企業	株式会社吉田
147	山形県	保育所	上郷保育園	201	山形県	民間企業	株式会社ヤマザワ
148	山形県	保育所	清水保育園	202	山形県	民間企業	株式会社山形丸魚
149	山形県	保育所	小百合保育園	203	山形県	民間企業	株式会社山形グランドホテル
150	山形県	保育所	小百合第二保育園	204	山形県	民間企業	株式会社山形銀行
151	山形県	保育所	こぞと保育園	205	山形県	民間企業	株式会社ホテルキャッスル
152	山形県	保育所	小島保育園	206	山形県	民間企業	株式会社ハ文字屋
153	山形県	保育所	子供の城保育園	207	山形県	民間企業	株式会社ハピスタッフ
154	山形県	保育所	興直北宮保育園	208	山形県	民間企業	株式会社でん六
155	山形県	保育所	興直寺宮保育園	209	山形県	民間企業	株式会社田内銀行
156	山形県	保育所	興直東館保育園	210	山形県	民間企業	株式会社庄交コーポレーション
157	山形県	保育所	興直西館保育園	211	山形県	民間企業	株式会社ジョイ
158	山形県	保育所	黒森保育園	212	山形県	民間企業	株式会社ケーブルテレビ山形
159	山形県	保育所	くしき保育園	213	山形県	民間企業	株式会社おーぱん
160	山形県	保育所	キンダー南館保育園	214	山形県	民間企業	株式会社大沼
161	山形県	保育所	キンダー保育園	215	山形県	民間企業	株式会社エム・エス・アイ
162	山形県	保育所	木の実保育園	216	山形県	民間企業	大塚印刷株式会社

No	都道府県	事業形態	事業所名	No	都道府県	事業形態	事業所名
217	山形県	民間企業	遠藤商事株式会社	271	宮城県	幼稚園	音の光幼稚園
218	山形県	民間企業	エムテックマシナリー株式会社	272	宮城県	幼稚園	塩釜ひまわり幼稚園
219	山形県	民間企業	伊藤電子工業株式会社	273	宮城県	幼稚園	塩釜カトリック幼稚園
220	山形県	民間企業	アサヒ印刷株式会社	274	宮城県	幼稚園	ますみ幼稚園
221	山形県	民間企業	NDソフトウェア株式会社	275	宮城県	幼稚園	まこと幼稚園
222	山形県	民間企業	株式会社サテライトシニア	276	宮城県	幼稚園	なとり幼稚園
223	山形県	地方自治体	遊佐町	277	宮城県	幼稚園	高森明泉幼稚園
224	山形県	地方自治体	米沢市	278	宮城県	幼稚園	しずくやま幼稚園
225	山形県	地方自治体	飯豊町	279	宮城県	幼稚園	多賀城高崎幼稚園
226	山形県	地方自治体	南陽市	280	宮城県	保育所	保育所/ゆきこぼと園
227	山形県	地方自治体	天童市	281	宮城県	保育所	保育所/藤田こぼと園
228	山形県	地方自治体	長井市	282	宮城県	保育所	南光台保育園
229	山形県	地方自治体	朝日町	283	宮城県	保育所	長命ヶ丘つし保育園
230	山形県	地方自治体	中山町	284	宮城県	保育所	泉中央保育園
231	山形県	地方自治体	大石田町	285	宮城県	保育所	高森サーラ保育園
232	山形県	地方自治体	大江町	286	宮城県	保育所	ろりまっす保育園
233	山形県	地方自治体	村山市	287	宮城県	保育所	さゆり保育園
234	山形県	地方自治体	川西町	288	宮城県	民間企業	メガネの相尺株式会社
235	山形県	地方自治体	西川町	289	宮城県	民間企業	株式会社山台商工団地情報センター
236	山形県	地方自治体	新庄市	290	宮城県	地方自治体	名取市
237	山形県	地方自治体	上山市	291	宮城県	地方自治体	白石市
238	山形県	地方自治体	小国町	292	宮城県	地方自治体	石巻市
239	山形県	地方自治体	舟形町	293	宮城県	地方自治体	気仙沼市
240	山形県	地方自治体	山辺町	294	宮城県	地方自治体	岩沼市
241	山形県	地方自治体	山形市	295	宮城県	地方自治体	角田市
242	山形県	地方自治体	鮎川村	296	宮城県	地方自治体	塩竈市
243	山形県	地方自治体	最上町	297	宮城県	地方自治体	東松島市
244	山形県	地方自治体	戸沢村	298	宮城県	地方自治体	登米市
245	山形県	地方自治体	金山町	299	宮城県	地方自治体	栗原市
246	山形県	地方自治体	寒町市	300	宮城県	地方自治体	大崎市
247	山形県	地方自治体	庄内町	301	宮城県	社会福祉施設	仙台天使園
248	山形県	社会福祉施設	七宝恩園	302	宮城県	社会福祉施設	小百合園
249	山形県	社会福祉施設	山形県山形学園	303	宮城県	社会福祉施設	丘の子どもホーム
250	山形県	社会福祉施設	山形県寒町工学園	304	宮城県	社会福祉施設	栗原秀峰会
251	山形県	社会福祉施設	山形育成園	305	宮城県	社会福祉施設	旭が丘学園
252	山形県	社会福祉施設	米沢市立興学館	306	岩手県	幼稚園	龍峯寺幼稚園
253	山形県	社会福祉施設	最上学園	307	岩手県	幼稚園	千原小羊幼稚園
254	山形県	社会福祉施設	光風学園	308	岩手県	幼稚園	一関幼稚園
255	山形県	社会福祉施設	鶴岡聖心学院	309	岩手県	幼稚園	愛心幼稚園
256	山形県	社会福祉施設	総合こども希望が丘	310	岩手県	幼稚園	スコーレ幼稚園
257	山形県	社会福祉施設	水明苑	311	岩手県	幼稚園	水道高るみ幼稚園
258	山形県	社会福祉施設	白鷹易光学園	312	岩手県	幼稚園	カトリック青心幼稚園
259	山形県	社会福祉施設	愛光園	313	岩手県	幼稚園	大釜幼稚園
260	山形県	社会福祉施設	向陽園	314	岩手県	保育所	清津保育園
261	宮城県	幼稚園	利府おおぞら幼稚園	315	岩手県	保育所	みどり保育園
262	宮城県	幼稚園	鳴瀬幼稚園	316	岩手県	民間企業	株式会社岩手広告社
263	宮城県	幼稚園	日和田幼稚園	317	岩手県	地方自治体	北上市
264	宮城県	幼稚園	南光輝幼稚園	318	岩手県	地方自治体	一関市
265	宮城県	幼稚園	東盛幼稚園	319	岩手県	地方自治体	奥州市
266	宮城県	幼稚園	長町幼稚園	320	岩手県	社会福祉施設	一関藤の園
267	宮城県	幼稚園	鷹ノ辻幼稚園	321	福島県	民間企業	新福島農業協同組合
268	宮城県	幼稚園	泉の木幼稚園	322	福島県	社会福祉施設	福島愛育園
269	宮城県	幼稚園	仙台YMCA幼稚園	323	福島県	社会福祉施設	アイリス学園
270	宮城県	幼稚園	岩切東光幼稚園				

[4] 地域ニーズ調査結果（抜粋）

1. 全体の集計結果

問 1 : 事業所の種類

回答事業所（323 施設）の事業所種類内訳は、「幼稚園」が 120 施設（37.3%）、「保育園」が 99 施設（30.7%）、「民間企業」が 46 施設（14.3%）、「その他」が 33 施設（10.2%）、「社会福祉施設」が 24 施設（7.5%）、となった。

全回答事業所のうち、「幼稚園」と「保育園」がそれぞれ約 3 割を占めている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	幼稚園	120	37.2	37.3
2	保育園	99	30.7	30.7
3	社会福祉施設	24	7.4	7.5
4	民間企業	46	14.2	14.3
5	その他	33	10.2	10.2
	不明	1	0.3	
	サンプル数(%ベース)	323	100.0	322

問 2 : 事業所の所在地

回答事業所（323 施設）の所在地内訳は、「山形県」が 242 施設（74.9%）で一番多かった。次いで、「宮城県」が 46 施設（14.2%）、「秋田県」が 16 施設（5.0%）、「岩手県」が 15 施設（4.6%）、「福島県」が 3 施設（0.9%）、「その他」が 1 施設（0.3%）、となった。「青森県」「新潟県」の回答は無かった。

回答事業所の約 7 割強が、「山形県」所在の事業所となっている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	山形県	242	74.9	74.9
2	青森県	0	0.0	0.0
3	岩手県	15	4.6	4.6
4	宮城県	46	14.2	14.2
5	秋田県	16	5.0	5.0
6	福島県	3	0.9	0.9
7	新潟県	0	0.0	0.0
8	その他	1	0.3	0.3
	不明	0	0	
	サンプル数(%ベース)	323	100	323

問 4 - ③ : 過去 3 年間（平成 17~19 年度）の正規職員採用者数（平成 19 年度）

回答事業所（323 施設）の平成 19 年度の正規職員採用者数について伺ったところ、「0

人（採用無し）」の施設が 124 施設（40.5%）と一番多かった。次いで、「1人～4人」が 117 施設（38.2%）、「10人～24人」が 30 施設（9.8%）、「5人～9人」が 26 施設（8.5%）、「50人～99人」が 5 施設（1.6%）、と続いている。

回答事業所の平成 19 年度の正規職員採用者数は、約 4 割の事業所において採用自体が行われておらず、採用があったとしても約 4 割弱の事業所において 5 人未満の採用であることがわかった。しかしながら年度を追うごとに、採用数が増加していることがわかる。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	0人（採用無し）	124	38.4	40.5
2	1人～4人	117	36.2	38.2
3	5人～9人	26	8	8.5
4	10人～24人	30	9.3	9.8
5	25人～49人	3	0.9	1.0
6	50人～99人	5	1.5	1.6
7	100人以上	1	0.3	0.3
	不明	17	5.3	
	サンプル数(%ベース)	323	100	306

問5：正規職員の採用に当たって特に重視していること（複数回答）

回答事業所（323 施設）に対して、正規職員の採用にあたって特に重視していることについて伺ったところ、「専門的知識・技術に係る資質・素養を備えている」が 153 施設（49.0%）と一番多かった。次いで、「周囲の人とのコミュニケーションを円滑に行うことができる」が 131 施設（42.0%）、「何事にも積極的に取り組む行動力がある」が 124 施設（39.7%）、「礼儀作法を知り、常識的振る舞いができる」が 81 施設（26.0%）、「幅広い知識・教養を身に付けている」が 53 施設（17.0%）、と続いている。

回答事業所の約 5 割弱が、正規職員の採用に当たって「専門的知識・技術に係る資質・素養を備えている」かどうかを最も重視していることがわかった。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	専門的知識・技術に係る資質・素養を備えている	153	47.4	49.0
2	幅広い知識・教養を身に付けている	53	16.4	17.0
3	何事にも積極的に取り組む行動力がある	124	38.4	39.7
4	礼儀作法を知り、常識的振る舞いができる	81	25.1	26.0
5	周囲の人とのコミュニケーションを円滑に行うことができる	131	40.6	42.0
6	様々な資格・免許を有している	6	1.9	1.9
7	その他	9	2.8	2.9
	不明	11	3.4	
	サンプル数(%ベース)	323	100.0	312

問6：大学の教育課程において、特に期待する授業形態（複数回答）

回答事業所（323 施設）に対して、大学の教育課程において特に期待する授業形態、について伺ったところ、「現場で実践する実習型の授業」が 245 施設（78.8%）と一番多かった。次いで、「教室内で課題に取り組む演習型の授業」が 188 施設（60.5%）、「共同

で作業をするグループワーク型授業」と「地域社会の人たちから学ぶ社会体験型授業」がともに 149 施設 (47.9%)、「自然の観察や調査を含む自然体験型の授業」が 57 施設 (18.3%)、と続いている。

回答事業所は、大学の教育課程において特に期待する授業形態として「現場で実践する実習型の授業」を最も期待していることがわかった。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	教室内で行う講義中心の授業	49	15.2	15.8
2	教室内で課題に取り組む演習型の授業	188	58.2	60.5
3	実験室で行う実験中心の授業	3	0.9	1.0
4	現場で実践する実習型の授業	245	75.9	78.8
5	企業や役所等で実習するインターンシップ型授業	56	17.3	18.0
6	自然の観察や調査を含む自然体験型の授業	57	17.6	18.3
7	共同で作業をするグループワーク型授業	149	46.1	47.9
8	地域社会の人たちから学ぶ社会体験型授業	149	46.1	47.9
9	さまざまな調査や観察をする調査型授業	21	6.5	6.8
10	その他	3	0.9	1.0
	不明	12	3.7	
	サンプル数(%ベース)	323	100	311

問 8 : 「人間科学部子ども教育学科」に対する興味

回答事業所 (323 施設) に対して、「人間科学部子ども教育学科」に対する興味、について伺ったところ、「興味を感じる」が 138 施設 (43.7%) と一番多かった。次いで、「少し興味を感じる」が 80 施設 (25.3%)、「ふつう」が 43 施設 (13.6%)、「わからない」が 31 施設 (9.8%)、「あまり興味を感じない」が 24 施設 (7.6%)、と続いている。

回答事業所の約 7 割弱が、「人間科学部子ども教育学科」に対して、何らかの興味を感じていることがわかった。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	興味を感じる	138	42.7	43.7
2	少し興味を感じる	80	24.8	25.3
3	ふつう	43	13.3	13.6
4	あまり興味を感じない	24	7.4	7.6
5	わからない	31	9.6	9.8
	不明	7	2.2	
	サンプル数(%ベース)	323	100	316

問 9 : 「人間科学部子ども教育学科」卒業生に対する採用意向

回答事業所 (323 施設) に対して、「人間科学部子ども教育学科」卒業生に対する採用意向、について伺ったところ、「わからない」が 134 施設 (43.4%) と一番多かった。次いで、「求人を検討したい」が 113 施設 (36.6%)、「求人したい」が 45 施設 (14.6%)、「求人を希望しない」が 17 施設 (5.5%)、と続いている。

回答事業所の約 5 割強が、「人間科学部子ども教育学科」卒業予定者に対して、何らかの採用意向を持っていることがわかった。

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	求人したい	45	13.9	14.6
2	求人を検討したい	113	35	36.6
3	求人を希望しない	17	5.3	5.5
4	わからない	134	41.5	43.4
	不明	14	4.3	
	サンプル数(%ベース)	323	100	309

2. 自由回答（抜粋）

全回答者（323事業所）のうち記述解答欄（問11）に回答が見られたのは、83事業所である。

- 幼保小の連携のためにも3つの資格・免許が取れるということに期待しております。
- 大いに期待しております。単に免許を取得する為の大学にならないように心掛けて欲しい。教育の現場で常に意欲と情熱を持って新鮮な感覚で研究課題に取り組める人材を育てて欲しいです。
- 年数が増えることで、先生方との人格的な触れ合いが可能になると思われます。また教養も豊かになることも期待いたします。
- やはり、4年生のとする目的は「深化」でしょう。良い「教員」の育成に期待いたします。20人中5人の大卒教員を雇用していますが、やはり、違いを感じます。自らが学ぶことを理解しています。
- 教諭、保育士の育成のための設置が大目標であるとは思いますが、先生のスペシャリストを育成するのではなく、世の中のことや社会生活のことや学校の外に目を向けられる先生を指導してほしいです。学部生全員が先生になれるわけではないでしょうから、広く進路を選択できるカリキュラム、内容を期待します。
- 学生、企業、双方にとって選択肢が広がるのは大変良い事だと思います。4年間じっくりと学ぶ事は、専門課程を修めるだけでなく人間性を深める意味でも有意義ですね。期待しております。
- 少人数のゼミを充実させてはいかがでしょうか。実社会で役立つ基礎的な能力・・・考える力、まとめる力、発表する力が身につけば、有為な人材になれると期待いたします。
- 子供の教育については、ますます教諭の重要性が高まると思います。安心して保育所、幼稚園、小学校にまかせられるような教諭を育成するうえで4年制大学設置の有効性は高いと考えます。今後の学校運営にご期待申し上げます。
- 教育委員会事務局です。採用については、一般行政試験になります。近年の傾向として採用枠が厳しくなっていますが、優秀な人材を求めるのは、企業だけでなく、行政も然りです。県内に4年制大学が更に増えれば高等教育並びに人材の集中等大いに期待できます。

3. 地域ニーズ調査票（回答欄省略）

山形短期大学における4年制大学設置に関する地域ニーズ調査票

最近、教育の質的向上のため幼稚園・保育所・小学校の連携が重視されるようになり、小学校教育が理解できる保育者、および保育が理解できる小学校教諭が求められるようになってきました。

そこで、山形短期大学では、小学校教諭1種免許、幼稚園教諭1種免許、保育士資格が取得できる4年制大学「人間科学部 子ども教育学科」を開設し、優れた保育者や小学校教諭を養成することを計画しています。

このアンケート調査は、事業所の皆様の職員採用等のお考え等を把握し、山形短期大学における4年制大学設置計画の基礎資料とするものです。皆様のご協力をお願いいたします。なお、この調査票は無記名方式です。また、結果はコンピュータにより処理され、統計資料としてのみ用い、個票を外部に公表したり他の目的のために使用したりすることはありません。

回答は設問の順に該当する選択肢番号を回答欄に直接記入してください。

<4年制大学の概要>

○学部・学科・・・・・・・・人間科学部 子ども教育学科

○入学定員・・・・・・・・定員80名

○取得可能な免許・資格・・・・小学校教諭1種免許、幼稚園教諭1種免許、保育士、その他

問1 貴事業所の種類についておたずねします。

- | | |
|----------|------------|
| 1 幼稚園 | 4 民間企業 |
| 2 保育園 | 5 その他（具体的に |
| 3 社会福祉施設 |) |

問2 貴事業所の所在地についておたずねします。

- | | |
|-------|------------|
| 1 山形県 | 5 秋田県 |
| 2 青森県 | 6 福島県 |
| 3 岩手県 | 7 新潟県 |
| 4 宮城県 | 8 その他（具体的に |

問3 貴事業所の現在の職員数は何人ですか。①正規職員、②非正規職員（臨時採用、嘱託、派遣、アルバイト等）についてご記入ください。

① 正規職員 人 ② 非正規職員 人

問4 貴事業所における過去3年間（平成17～19年度）の正規職員採用者数についてご記入ください。

① 平成17年度 人 ②平成18年度 人 ③平成19年度 人

問5 貴事業所では、正規職員の採用に当たって、特に重視していることは何ですか。次の中から**2つ**まで選んでください。

- 1 専門的知識・技術に係る資質・素養を備えている
- 2 幅広い知識・教養を身に付けている
- 3 何事にも積極的に取り組む行動力がある
- 4 礼儀作法を知り、常識的振る舞いができる
- 5 周囲の人とのコミュニケーションを円滑に行うことができる
- 6 様々な資格・免許を有している
- 7 その他(具体的に)

問6 貴事業所では、大学での教育課程において、特に期待する**授業形態**はどのようなものですか。次の中から**3つ**まで選んでください。

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1 教室内で行う講義中心の授業 | 6 自然の観察や調査を含む自然体験型の授業 |
| 2 教室内で課題に取り組む演習型の授業 | 7 共同で作業をするグループワーク型授業 |
| 3 実験室で行う実験中心の授業 | 8 地域社会の人たちから学ぶ社会体験型授業 |
| 4 現場で実践する実習型の授業 | 9 さまざまな調査や観察をする調査型授業 |
| 5 企業や役所等で実習するインターンシップ型授業 | 10 その他(具体的に) |

問7 貴事業所では、大学での教育課程において、特に期待する**授業科目**はどのようなものですか。次の中から**3つ**まで選んでください。

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1 自然環境に関する科目 | 8 日本文化に関する科目 |
| 2 地域の産業に関する科目 | 9 教育問題に関する科目 |
| 3 身体表現に関する科目 | 10 コミュニケーション力を高める科目 |
| 4 人間関係の心理に関する科目 | 11 カウンセリングに関する科目 |
| 5 考える力を高める科目 | 12 日本語表現力を高める科目 |
| 6 英会話能力を高める科目 | 13 イベントなどの企画力を高める科目 |
| 7 異文化理解に関する科目 | 14 その他(具体的に) |

【現在計画中の4年制大学についておたずねします】

問8 貴事業所では、「人間科学部 子ども教育学科」に興味がありますか。次の中から**1つ**だけ選んでください。

- | | |
|------------|--------------|
| 1 興味を感じる | 4 あまり興味を感じない |
| 2 少し興味を感じる | 5 わからない |
| 3 ふつう | |

問9 貴事業所では、「人間科学部 子ども教育学科」卒業生の採用について、どのようにお考えですか。次の中から**1つ**だけ選んでください。

- | | |
|------------|------------|
| 1 求人したい | 3 求人を希望しない |
| 2 求人を検討したい | 4 わからない |

問10 貴事業所では、以下の資格・免許の中で特に有益と考えるものはありますか。特に有

益と考える資格・免許について第1位から第3位の順に選んでください。

- | | | | |
|---|------------|----|------------------|
| 1 | ピアヘルパー | 6 | 認定ベビーシッター |
| 2 | カウンセリング実務士 | 7 | レクリエーションインストラクター |
| 3 | 情報処理士 | 8 | キャンプインストラクター |
| 4 | ビジネス実務士 | 9 | 医療秘書士 |
| 5 | 観光ビジネス実務士 | 10 | その他（具体的に) |

問 11 計画中の4年制大学について、御意見・御要望等がありましたら、御自由にお書きください。

***** これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。 *****

資料10. カリキュラム

◎必修 △選択 ■幼必修 □幼選択 ●保必修 ○保選択 ◆小必修 ◇小選択 ▼自由科目

区分	科目	形態	単位	時間	1年次		2年次		3年次		4年次		
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基礎教育科目	入門ゼミ	基礎ゼミⅠ	演習	1	30	◎							
		基礎ゼミⅡ	演習	1	30		◎						
		応用ゼミⅠ	演習	1	30			◎					
		応用ゼミⅡ	演習	1	30				◎				
	基礎教養		言語表現の基礎	講義	2	30	△		△				
			プレゼンテーション演習	演習	1	30					△		△
			文章表現の技術	講義	2	30		△		△			
			くらしと倫理学	講義	2	30		△		△			
			くらしと日本文学	講義	2	30					△		
			くらしと憲法	講義	2	30	■◆		■◆				△
			くらしと経済	講義	2	30					△		△
			くらしと現代企業	講義	2	30					△		△
			社会を見る眼	講義	2	30					△		△
			社会教育を考える	講義	2	30					△		△
			異文化コミュニケーション	講義	2	30	集中△		集中△				
			環境問題を考える	講義	2	30					△		△
			生物学を知る	講義	2	30	△		△				
			環境と生物を考える	講義	2	30	△		△				
			生命と環境を考える	講義	2	30					△		△
		人間と宇宙を考える	講義	2	30					△		△	
	外国語		英語Ⅰ	演習	1	30				△		△	
			英語Ⅱ	演習	1	30				△		△	
			英語コミュニケーションⅠ	演習	1	30	◎■◆◇						
			英語コミュニケーションⅡ	演習	1	30		■◆◇					
			韓国語Ⅰ	演習	1	30				△		△	
			韓国語Ⅱ	演習	1	30				△		△	
			フランス語Ⅰ	演習	1	30				△		△	
			フランス語Ⅱ	演習	1	30				△		△	
	保体		スポーツサイエンスⅠ	講義	1	30				◎■◆◇			
			スポーツサイエンスⅡ	講義	1	30					■◆◇		
情報処理		情報科学	講義	2	30	△		△					
		コンピュータ基礎演習	演習	1	30	◎■◆◇							
		コンピュータ応用演習	演習	1	30		■◆◇						
		インターネット演習	演習	1	30		△		△				
		表計算応用演習	演習	1	30					△		△	
		マルチメディア演習	演習	1	30					△		△	
子どもの理解		幼児理解の理論と方法	講義	2	30				□				
		発達心理学	講義	2	30			◎□◆◇					
		乳幼児心理学	講義	2	30				○◇				
		児童心理学	講義	2	30				□○◇				
		小児保健Ⅰ	講義	2	30	●							
		小児保健Ⅱ	講義	2	30		●						
		小児保健実習	実習	1	30			●					
		小児栄養Ⅰ	演習	1	30			●					
		小児栄養Ⅱ	演習	1	30			●					
	専門教育科目	保育系		保育内容研究Ⅰ	演習	1	30	集中■●					
			保育内容研究Ⅱ	演習	1	30		集中■●					
			保育内容研究(健康Ⅰ)	演習	1	30	■●						
			保育内容研究(健康Ⅱ)	演習	1	30		■○					
			保育内容研究(人間関係Ⅰ)	演習	1	30			■●				
			保育内容研究(人間関係Ⅱ)	演習	1	30			■○				
			保育内容研究(環境Ⅰ)	演習	1	30		■●					
			保育内容研究(環境Ⅱ)	演習	1	30			■○				
			保育内容研究(言葉Ⅰ)	演習	1	30	■●						
			保育内容研究(言葉Ⅱ)	演習	1	30		■○					
		保育内容研究(表現Ⅰ)	演習	1	30			■●					
		保育内容研究(表現Ⅱ)	演習	1	30			■○					
		乳児保育Ⅰ	演習	1	30	●							
		乳児保育Ⅱ	演習	1	30		●						
		障害児保育	演習	1	30			●					
		養護原理Ⅰ	講義	2	30	●							
		養護原理Ⅱ	講義	2	30		○						
		養護内容Ⅰ	演習	1	30			●					
		養護内容Ⅱ	演習	1	30				○				
教育系			道徳	講義	2	30							◇
			国語Ⅰ(書写を含む)	講義	2	30				◎□◆			
			国語Ⅱ	講義	2	30					□◇		
			社会Ⅰ	講義	2	30					◇		
			社会Ⅱ	講義	2	30					◇		
			算数Ⅰ	講義	2	30					□◇		
		算数Ⅱ	講義	2	30					□◇			
		理科Ⅰ	講義	2	30						◇		
		理科Ⅱ	演習	1	30							◇	
		生活Ⅰ	講義	2	30						□◇		
		生活Ⅱ	講義	2	30						□◇		
		音楽Ⅰ	演習	1	30	◎■◆◇							
		音楽Ⅱ	演習	1	30		■◆◇						
		音楽Ⅲ	演習	1	30			□○◇					
		図画工作Ⅰ	演習	1	30	■◆◇							
	図画工作Ⅱ	演習	1	30		□○◆							
	家庭Ⅰ	講義	2	30					□◇				
	家庭Ⅱ	講義	2	30						□◇			
	体育Ⅰ	演習	1	30	■◆◇								
	体育Ⅱ	演習	1	30		□○◆							
	子どもの英語	演習	1	30					◇				

◎必修 △選択 ■幼必修 □幼選択 ●保必修 ○保選択 ◆小必修 ◇小選択 ▼自由科目

区分	科目	形態	単位	時間	1年次		2年次		3年次		4年次		
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門教育科目	保育系	保育原理Ⅰ	講義	2	30	●							
		保育原理Ⅱ	講義	2	30		●						
		保育指導法総論	講義	2	30			■					
		児童福祉	講義	2	30	●							
		児童文化論	講義	2	30					○			
		教育原理	講義	2	30			◎■●◆					
		教育課程総論	講義	2	30			■◆					
		教育制度論	講義	2	30					■◆			
		教職概論	講義	2	30				■◆				
		教育心理学	講義	2	30						□●◇		
		教育の方法と技術	講義	2	30				■◆				
		教育系	国語科教育法	講義	2	30						◇	
			社会科教育法	講義	2	30					◇		
			算数科教育法	講義	2	30						◇	
			理科教育法	講義	2	30							◇
			生活科教育法	講義	2	30							◇
	音楽科教育法		講義	2	30						◇		
	図画工作科教育法		講義	2	30						◇		
	家庭科教育法		講義	2	30						◇		
	体育科教育法		講義	2	30						◇		
	道徳の指導法		講義	2	30							◆	
	特別活動の指導法		講義	2	30					◆			
	英語科教育法		講義	2	30						◇		
	生徒指導論		講義	2	30					◆集中			
	人間と心理学の理解		総合演習	演習	2	30				●			
			心理学A	講義	2	30					△		△
			心理学B	講義	2	30						△	△
		知覚心理学	講義	2	30						△	△	
		学習心理学	講義	2	30						□◇	□◇	
		社会心理学	講義	2	30					△		△	
		心理統計学	講義	2	30						△	△	
		心理学実験演習A	演習	1	30					▼			
心理学実験演習B		演習	1	30						▼			
心理検査法		講義	2	30					△		△		
心理検査法実習		実習	1	30						△	△		
子育て支援		臨床心理学	講義	2	30					△		△	
		子育て支援論	講義	2	30					△		△	
		子育て支援実践	演習	1	30						△	△	
		教育相談	講義	2	30							□◆	
		育児文化論	講義	2	30						△	△	
		家族心理学	講義	2	30					△集中		△集中	
		家族援助論	講義	2	30					●			
		精神保健	講義	2	30					●			
		社会福祉	講義	2	30	●							
	社会福祉援助技術Ⅰ	演習	1	30		●							
地域社会の理解	社会福祉援助技術Ⅱ	演習	1	30			●						
	地域社会論	講義	2	30					△		△		
	地域作りとその手法	演習	1	30						△	△		
	青少年問題と社会教育	講義	2	30					△		△		
	生涯学習概論	講義	2	30						△	△		
	地域社会とボランティア	講義	2	30					△		△		
	ボランティア活動	演習	1	30						△	△		
	地域社会史	講義	2	30						△	△		
	地域文化論	講義	2	30						△	△		
	地域と多文化	講義	2	30						△	△		
保育・教育の実践	保育実習事前事後指導A	実習	1	30		●							
	保育実習事前事後指導B	実習	1	30			●						
	保育実習ⅠA	実習	2	90			●						
	保育実習ⅠB	実習	2	90			●						
	保育実習ⅡA	実習	2	90				●					
	保育実習ⅡB	実習	2	90				●					
	教育実習事前事後指導A	実習	1	30						□◇			
	教育実習事前事後指導B	実習	1	30							□◇		
	教育実習Ⅰ	実習	2	90						□◇			
	教育実習Ⅱ	実習	2	90							□◇		
	教育実習A	実習	2	90							□◇		
	教育実習B	実習	4	180							□◇		
	教職実践演習(幼稚園)	演習	2	30							■		
	教職実践演習(小学校)	演習	2	30							◆		
保育・教育研究	指導案研究A	演習	1	30				△					
	指導案研究B	演習	1	30					△				
	指導案研究C	演習	1	30						△			
	乳幼児研究法	講義	2	30					△				
	幼小連携総論	講義	2	30							□◇		
	卒業研究Ⅰ	演習	2	60					◎				
	卒業研究Ⅱ	演習	2	60						◎			
	卒業研究Ⅲ	演習	2	60							◎		
	卒業研究Ⅳ	演習	2	60							◎		
	アキヤリ支援	キャリア演習A	演習	1	30					△		△	
キャリア演習B		演習	1	30						△	△		
キャリア演習C		演習	1	30					△		△		

資料 1 1. 富澤学園東北文教大学定年規程

(目的)

第 1 条 この規程は、学校法人富澤学園東北文教大学就業規則（以下「就業規則」という）第 17 条第 3 項の規定に基づき、同規則第 2 条に規定する本務として常時勤務する職員（以下「専任職員」という）の定年に関する事項を定めることを目的とする。

(定年年齢)

第 2 条 専任職員の定年到達の年齢は、各任用区分に応じ、次のとおりとする。

区 分	新規採用者	再 雇 用 者
教育職員	6 5 歳	2 年毎再契約(最長満75歳までとする)
事務職員	6 0 歳	1 年毎 再契約
業務職員	6 0 歳	1 年毎 再契約

(定義)

第 3 条 この規程において「再雇用者」とは、本学園以外の職場で定年に達し本学園に採用された者をいう。又、「新規採用者」とは、それ以外の者で本学園に採用された者をいう。

(定年退職の日)

第 4 条 専任職員の定年退職の日は、その者が第 2 条に定める当該定年年齢に到達した日の属する学年度の末日とする。

(定年の特例)

第 5 条 理事長は、定年となった教育職員、事務職員及び再雇用者のうち、特に必要がある場合においては、人事委員会に諮り、その者の勤務を 2 年毎に延長することができる。

2. 理事長は、定年となった事務職員、業務職員及び再雇用者のうち、特に必要がある場合においては、その者の勤務を 1 年毎に延長することができる。

附 則

1. この規程は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。
2. 本学設置にかかわり採用した教育職員にして再雇用者にあつては、79 歳を定年とし、その後については第 5 条第 1 項の規定によるものとする。

資料 1 2 - 1 保育・家庭教育力向上型

	1 年次前期		1 年次後期		2 年次前期		2 年次後期		3 年次前期		3 年次後期		4 年次前期		4 年次後期	
	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位
基礎教育科目	※コンピュータ基礎演習	1	※基礎ゼミⅡ	1	※応用ゼミⅠ	1	※応用ゼミⅡ	1	※スポーツサイエンスⅠ	1	スポーツサイエンスⅡ	1	プレゼンテーション演習	1	環境問題を考える	2
	※基礎ゼミⅠ	1	コンピュータ応用演習	1	くらしと憲法	2									表計算応用演習	1
	※英語コミュニケーションⅠ	1	英語コミュニケーションⅡ	1												
	小計	3	小計	3	小計	3	小計	1	小計	1	小計	1	小計	1	小計	3
	基礎教育科目の計				基礎教育科目の計				基礎教育科目の計				基礎教育科目の計			
合計																16
専門教育科目	※音楽Ⅰ	1	体育Ⅱ	1	※発達心理学	2	※教育原理	2	※国語Ⅰ（書写を含む）	2	教育心理学	2	生活Ⅰ	2		
	体育Ⅰ	1	音楽Ⅱ	1	保育内容研究（人間関係Ⅰ）	1	小児栄養Ⅱ	1	児童文化論	2	国語Ⅱ	2				
	保育内容研究（健康Ⅰ）	1	保育内容研究（環境Ⅰ）	1	養護内容Ⅰ	1	教職概論	2	算数Ⅰ	2						
	保育内容研究（言葉Ⅰ）	1	乳児保育Ⅱ	1	保育内容研究（表現Ⅰ）	1	教育の方法と技術	2	教育制度論	2						
	保育内容研究Ⅰ	1	保育内容研究Ⅱ	1	保育指導法総論	2	幼児理解の理論と方法	2								
	保育原理Ⅰ	2	保育原理Ⅱ	2	小児栄養Ⅰ	1	養護内容Ⅱ	1								
	図画工作Ⅰ	1	図画工作Ⅱ	1	教育課程総論	2	保育内容研究（人間関係Ⅱ）	1								
	小児保健Ⅰ	2	小児保健Ⅱ	2	小児保健実習	1	保育内容研究（表現Ⅱ）	1								
	養護原理Ⅰ	2	保育内容研究（言葉Ⅱ）	1	障害児保育	1										
	乳児保育Ⅰ	1	保育内容研究（健康Ⅱ）	1	保育内容研究（環境Ⅱ）	1										
児童福祉	2															
小計	15	小計	12	小計	13	小計	12	小計	8	小計	4	小計	2	小計	0	
専門教育科目の計				専門教育科目の計				専門教育科目の計				専門教育科目の計				
合計																66
専門発展科目	社会福祉	2	社会福祉援助技術Ⅰ	1	社会福祉援助技術Ⅱ	1	保育実習ⅡA	2	※卒業研究Ⅰ	2	※卒業研究Ⅱ	2	※卒業研究Ⅲ	2	※卒業研究Ⅳ	2
			保育実習事前事後指導A	1	保育実習事前事後指導B	1	総合演習	2	家族援助論	2	教育実習事前事後指導A	1	教育実習Ⅱ	2	教職実践演習（幼稚園）	2
					保育実習ⅠA	2			子育て支援論	2	教育実習Ⅰ	2	家族心理学	2	教育相談	2
					保育実習ⅠB	2					精神保健	2	地域社会とボランティア	2	子育て支援実践	1
小計	2	小計	2	小計	6	小計	4	小計	6	小計	7	小計	8	小計	7	
専門発展科目の計				専門発展科目の計				専門発展科目の計				専門発展科目の計				
合計																42
専門発展科目の合計																42
合計	1 年次の合計				2 年次の合計				3 年次の合計				4 年次の合計			
	37				39				27				21			
124																

単位数合計 124

注 1) 人材像 (1) 「家庭における教育力を高めるべく、子どもの育ちにかかわる高度な専門的知識を有し、子どもや保護者を的確に支援できる人材」に対応した履修モデル

注 2) 履修単位数合計は 124 単位

注 3) 複数学年に配置されている科目は、全体の履修バランスを考慮して選択

注 4) ※印は必修科目

資料 1 2 - 2 学校・地域社会教育力向上型

区分	1年次前期		1年次後期		2年次前期		2年次後期		3年次前期		3年次後期		4年次前期		4年次後期	
	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位
基礎教育科目	※コンピュータ基礎演習	1	※基礎ゼミⅡ	1	※応用ゼミⅠ	1	※応用ゼミⅡ	1	※スポーツサイエンスⅠ	1	スポーツサイエンスⅡ	1				
	※基礎ゼミⅠ	1	コンピュータ応用演習	1	生物学を知る	2	くらしと倫理学	2								
	※英語コミュニケーションⅠ	1	英語コミュニケーションⅡ	1	環境と生物を考える	2										
	くらしと憲法	2	文章表現の技術	2	情報科学	2										
	言語表現の基礎	2														
異文化コミュニケーション	2															
	小計	9	小計	5	小計	7	小計	3	小計	1	小計	1	小計	0	小計	0
	基礎教育科目の計				基礎教育科目の計				基礎教育科目の計				基礎教育科目の計			
	合計															
	26															
専門教育科目	※音楽Ⅰ	1	音楽Ⅱ	1	※発達心理学	2	※教育原理	2	※国語Ⅰ（書写を含む）	2	国語科教育法	2	理科教育法	2	生活科教育法	2
	体育Ⅰ	1	体育Ⅱ	1	教育課程総論	2	児童心理学	2	社会科教育法	2	算数科教育法	2	理科Ⅰ	2		
	図画工作Ⅰ	1	図画工作Ⅱ	1	保育内容研究（人間関係Ⅰ）	1	保育内容研究（人間関係Ⅱ）	1	特別活動の指導法	2	教育心理学	2				
					音楽Ⅲ	1	教職概論	2	生徒指導論	2	体育科教育法	2				
					教育の方法と技術	2	教育制度論	2	教育制度論	2	道徳の指導法	2				
	小計	3	小計	3	小計	6	小計	9	小計	10	小計	14	小計	4	小計	2
	専門教育科目の計				専門教育科目の計				専門教育科目の計				専門教育科目の計			
	合計															
	51															
専門発展科目	社会福祉	2	社会福祉援助技術Ⅰ	1	社会福祉援助技術Ⅱ	1			※卒業研究Ⅰ	2	※卒業研究Ⅱ	2	※卒業研究Ⅲ	2	※卒業研究Ⅳ	2
								心理学A	2	地域社会史	2	社会心理学	2	学習心理学	2	
								地域社会論	2			臨床心理学	2	心理統計学	2	
								地域社会とボランティア	2			家族心理学	2	教育相談	2	
												青少年問題と社会教育	2	地域作りとその手法	1	
	小計	2	小計	1	小計	1	小計	0	小計	8	小計	4	小計	15	小計	16
	専門発展科目の計				専門発展科目の計				専門発展科目の計				専門発展科目の計			
	合計															
	47															
合計	1年次の合計				2年次の合計				3年次の合計				4年次の合計			
	124															

単位数合計 124

注1) 人材像(2)「子どもを取り巻く地域社会の教育力を高めるべく、地域にかかわる諸問題を理解し、リーダー的な立場で地域に貢献できる人材」に対応した履修モデル

注2) 履修単位数合計は124単位

注3) 複数学年に配置されている科目は、全体の履修バランスをj配慮して選択

注4) ※印は必修科目

資料 1 2 - 3 接続教育型

区分	1年次前期		1年次後期		2年次前期		2年次後期		3年次前期		3年次後期		4年次前期		4年次後期	
	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位
基礎教育科目	※コンピュータ基礎演習	1	※基礎ゼミⅡ	1	※応用ゼミⅠ	1	※応用ゼミⅡ	1	※スポーツサイエンスⅠ	1	スポーツサイエンスⅡ	1				
	※基礎ゼミⅠ	1	英語コミュニケーションⅡ	1												
	※英語コミュニケーションⅠ	1	コンピュータ応用演習	1												
	くらしと憲法 言語表現の基礎	2 2	文章表現の技術	2												
	小計	7	小計	5	小計	1	小計	1	小計	1	小計	1	小計	0	小計	0
	基礎教育科目の計				基礎教育科目の計				基礎教育科目の計				基礎教育科目の計			
	合計															
	16															
専門教育科目	※音楽Ⅰ	1	体育Ⅱ	1	※発達心理学	2	※教育原理	2	※国語Ⅰ（書写を含む）	2	英語科教育法	2	理科教育法	2	生活科教育法	2
	体育Ⅰ	1	保育内容研究（健康Ⅱ）	1	保育内容研究（人間関係Ⅰ）	1	乳幼児心理学	2	教育制度論	2	国語科教育法	2	生活Ⅰ	2		
	保育内容研究（健康Ⅰ）	1	保育内容研究（環境Ⅰ）	1	保育内容研究（環境Ⅱ）	1	保育内容研究（人間関係Ⅱ）	1	生徒指導論	2	体育科教育法	2				
	保育内容研究（言葉Ⅰ）	1	保育内容研究（言葉Ⅱ）	1	保育内容研究（表現Ⅰ）	1	保育内容研究（表現Ⅱ）	1	社会科教育法	2	教育心理学	2				
保育内容研究Ⅰ	1	保育内容研究Ⅱ	1	保育指導法総論	2	児童心理学	2	特別活動の指導法	2	算数科教育法	2					
図画工作Ⅰ	1	音楽Ⅱ	1	教育課程総論	2	教育の方法と技術	2	子どもの英語	1	道徳の指導法	2					
		図画工作Ⅱ	1	音楽Ⅲ	1	幼児理解の理論と方法	2	教職概論	2							
	小計	6	小計	7	小計	10	小計	14	小計	11	小計	14	小計	4	小計	2
	専門教育科目の計				専門教育科目の計				専門教育科目の計				専門教育科目の計			
	合計															
	68															
専門発展科目									※卒業研究Ⅰ	2	※卒業研究Ⅱ	2	※卒業研究Ⅲ	2	※卒業研究Ⅳ	2
									乳幼児研究法	2	教育実習事前事後指導A	1	青少年問題と社会教育	2	ボランティア活動	1
									心理学A	2	教育実習Ⅰ	2	地域社会とボランティア	2	学習心理学	2
													家族心理学	2	教育相談	2
												臨床心理学	2	心理統計学	2	
												指導案研究C	1	教職実践演習（幼稚園）	2	
												教育実習A	2	教職実践演習（小学校）	2	
												教育実習事前事後指導B	1			
												幼小連携総論	2			
	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0	小計	6	小計	5	小計	16	小計	13
	専門発展科目の計				専門発展科目の計				専門発展科目の計				専門発展科目の計			
	合計															
	40															
合計	1年次の合計				2年次の合計				3年次の合計				4年次の合計			
	124															

単位数合計 124

注1) 人材像(3)「就学前教育と初等教育の円滑な接続教育を行うべく、乳幼児期から学童期の子どもの理解を深め、高い専門性と優れた判断力を有する人材」に対応した履修モデル

注2) 履修単位数合計は124単位

注3) 複数学年に配置されている科目は、全体の履修バランスをj配慮して選択

注4) ※印は必修科目

資料 1 3 . 成績評価と G P A

[1] 成績評価

1. 成績評価

所定の科目を履修し試験等に合格した場合に、当該科目についての単位を認定する。単位を認定した科目の成績評価は、S、A、B、C、D、F、WおよびTをもって表示する（表1）。

表 1 . 得点と成績評価、合否、G P の関係一覧

評価	成 績	合 否	G P	備 考
S	100点～90点	合 格	4	G P A の対象
A	89点～80点		3	
B	79点～70点		2	
C	69点～60点		1	
D	59点以下	不 合格	0	受験資格喪失 履修放棄
F	—		0	
W	—		0	
T	—	合 格	—	他大学等で取得した単位

2. 得点と成績評価

成績評価は、得点が100点～90点をS、89点～80点をA、79点～70点をB、69点～60点をC、59点以下をDとする。出席時数の不足等により受験資格を喪失した場合はF、履修を放棄した場合はW、他大学等で取得した単位はT（単位認定）と表記する（表1）。

3. 成績評価と合否

S、A、B、CおよびTを合格とし、D、F、Wを不合格とする（表1）。

[2] 成績評価と G P A

1. G P

各科目ごとに成績評価に対応して付与する「点」をG P（Grade Point）とする。G Pは表1に示したように、Sは4点、Aは3点、Bは2点、C、F、Wは0点とする。ただし、他大学等で取得した単位Tについては対象外とする。

2. G P A

科目ごとに成績評価（S、A、B、C、F、W）に対応したG Pと当該科目の単位数を乗じて得た値の合計を、登録科目数で除した値をG P A（Grade Point Average）とする。ただし、TはG P Aの計算対象から除外する。

3. 再履修

再履修した場合は、当該科目の再履修前のG Pを再履修後のG Pに訂正して、新たにG P Aを算出する。

【3】G P Aと学修指導

1. 卒業研究

「卒業研究」を履修できる条件は次のとおりとする。

- (1) 休学期間を含まないで3年以上在学していること
- (2) 2年次後学期までに開講されている卒業必修科目の単位をすべて取得していること
- (3) 2年次後学期までのG P Aが2.4以上であること。ただし、教授会が認めた場合には履修できるものとする。
- (4) 3年次編入生に対しては上記(1)～(3)の条件を適用しないこととする。

2. 実習

「保育実習」「教育実習」を履修できる条件として、①実習前に単位を取得しておかなければならない科目、②実習前に履修中である科目、③G P Aについて規程を設ける。

3. 学修指導

1つの学期(セメスター)ごとにG P Aを算出し、次のような指導を行う。

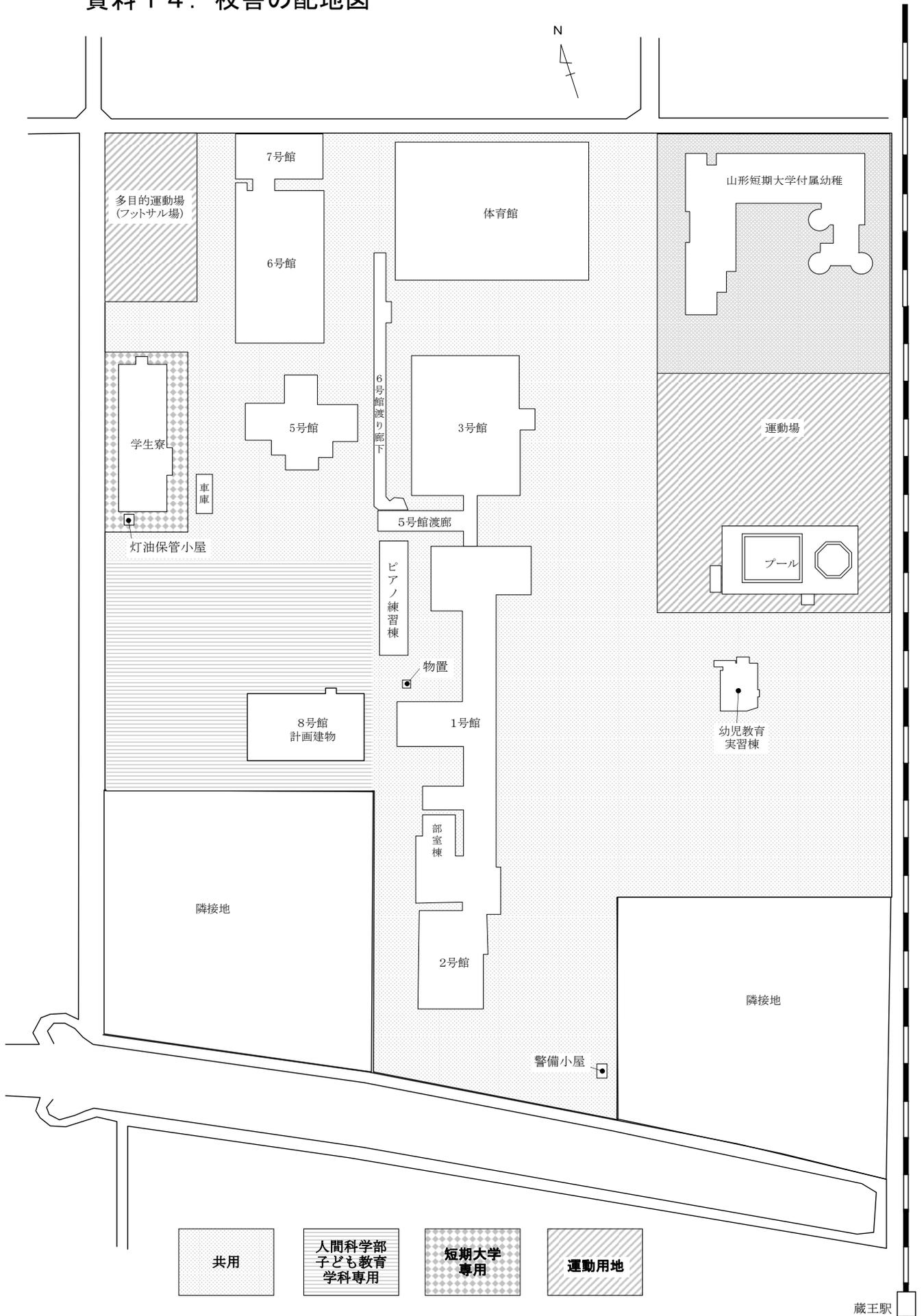
- (1) ある学期のG P Aが2.0未満となった学生に対しては、担任またはアドバイザーから学修の指導を行う。
- (2) 連続して2つの学期でG P Aが2.0未満となった学生に対しては、本人および保護者と担任(またはアドバイザー、教務委員)が成績改善のための話し合いを行う。また、必要に応じて補習等の継続的な支援を行う。
- (3) 連続してまたは通算で、3つの学期でG P Aが2.0未満となった学生に対しては、本人および保護者と学科長および担任(またはアドバイザー、教務委員)が成績改善のための話し合いを行う。
- (4) G P Aが1.50未満の学生に対しては、学部長が退学を勧告する場合がある。ただし、特別な事情がある場合には教授会の議を経て在学を許可することがある。

【4】G P Aと履修科目の登録制限

履修科目の登録制限

1年間に履修登録できる単位数の上限を原則として42単位とする。ただし、ある学期のG P Aが3.40以上であった場合には、教授会の議を経て、次の学期を含む1年間の履修登録単位数の上限を4単位加算することができる。

資料 1 4. 校舎の配地図



資料16 共用施設一覧

No.	建物名	階層	室名	面積
1	1・2号館	2	ビジネス実務演習室	79.48
2	1・2号館	2	第二コンピュータ室	66.24
3	1・2号館	2	第一コンピュータ室	102.64
4	1・2号館	1	第一造形室	145.80
5	1・2号館	2	乳児保育小児保健実習室	97.20
6	1・2号館	2	第二造形室	97.20
7	1・2号館	3	音楽室	97.20
8	1・2号館	3	P. M. L.	155.25
9	1・2号館	3	PB	4.86
10	1・2号館	3	PB	4.86
11	1・2号館	3	PB	4.86
12	1・2号館	3	PB	4.05
13	1・2号館	3	PB	4.05
14	1・2号館	3	第4レッスン室	22.14
15	3号館	4	マルチメディア演習室	126.00
16	3号館	1.2	図書館	1533.00
17	7号館	1	家政実習室兼調理実習室	132.40
18	ピアノ実習棟	1	PB	4.96
19	ピアノ実習棟	1	PB	4.96
20	ピアノ実習棟	1	PB	4.96
21	ピアノ実習棟	1	PB	4.96
22	ピアノ実習棟	1	PB	4.96
23	ピアノ実習棟	1	PB	4.96
24	ピアノ実習棟	1	PB	4.96
25	ピアノ実習棟	1	PB	4.96
26	ピアノ実習棟	1	PB	4.96
27	ピアノ実習棟	1	PB	4.96
28	ピアノ実習棟	1	PB	4.96
29	ピアノ実習棟	1	PB	4.96
30	ピアノ実習棟	1	PB	4.96
31	ピアノ実習棟	1	PB	8.69
32	ピアノ実習棟	1	PB	8.69
33	ピアノ実習棟	1	PB	4.96
34	ピアノ実習棟	1	PB	4.96
35	ピアノ実習棟	1	PB	4.96
36	ピアノ実習棟	1	PB	4.96
37	ピアノ実習棟	1	PB	4.96
38	ピアノ実習棟	1	PB	8.69
39	ピアノ実習棟	1	PB	9.93
40	ピアノ実習棟	1	PB	4.96
41	ピアノ実習棟	1	PB	4.96
42	ピアノ実習棟	1	PB	4.96
43	体育館	1	体育館	1852.00
44	幼児教育実習棟	1	幼児教育実習棟	140.94

資料 17. 学術雑誌一覧

	番号	誌名	発行所	発行形式
転用	1	英語教育	大修館書店	月刊
転用	2	音楽現代	芸術現代社	月刊
転用	3	科学	岩波書店	月刊
新規購入	4	教育	国土社	月刊
転用	5	教育科学国語教育	明治図書出版	月刊
新規購入	6	教育学研究(英文誌含)	日本教育学会	年5回
転用	7	教育研究	初等教育研究会	月刊
転用	8	教育心理学研究	日本教育心理学会	季刊
転用	9	教育と医学	慶応義塾大学	月刊
転用	10	教育美術	教育美術振興会	月刊
転用	11	月刊福祉	全国社会福祉協議会	月刊
転用	12	言語研究	日本言語学会	年2回
新規購入	13	現代教育科学	明治図書出版	月刊
転用	14	現代思想	青土社	月刊
転用	15	こども未来	こども未来財団	月刊
転用	16	3・4・5歳児の保育	小学館	隔月刊
転用	17	思想	岩波書店	月刊
転用	18	児童心理	金子書房	月刊
転用	19	日本児童文学	日本児童文学者協会	隔月刊
転用	20	社会福祉研究	鉄道弘済会	年3回
転用	21	障害者問題研究	全国障害者問題研究会	季刊
転用	22	生活と福祉	全国社会福祉協議会	月刊
転用	23	世界	岩波書店	月刊
転用	24	総合社会福祉研究	総合社会福祉研究所	年2回
転用	25	体育科教育	大修館書店	月刊
転用	26	道徳教育	明治図書出版	月刊
転用	27	読書科学	日本読書学会	季刊
転用	28	日本教育工学会論文誌	日本教育工学会	月刊
転用	29	日本語の研究	日本言語学会	季刊
転用	30	発達教育	(社)発達協会	月刊
転用	31	発達	ミネルヴァ書房	季刊
転用	32	保育の実践と研究	スペース新社保育研究室	季刊

	番号	誌名	発行所	発行形式
転用	33	保育の友	全国社会福祉協議会	月刊
転用	34	保育問題研究	新読書社	季刊
転用	35	法社会学	有斐閣	年2回
転用	36	保健の科学	杏林書院	月刊
転用	37	Child Development	Blackwell	隔月刊
転用	38	Children's Literature in Education	Springer	季刊
新規購入	39	Contemporary Educational Psychology	Academic Press	季刊
新規購入	40	Educational Psychology Review	Plenum Pub/Kluwer	季刊
転用	41	Journal of experimental psychology	American Psychological Association	隔月

資料 1 8 - 1 幼稚園教諭一種免許状＋保育士資格＋認定心理士

区分	1年次前期		1年次後期		2年次前期		2年次後期		3年次前期		3年次後期		4年次前期		4年次後期	
	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位
基礎教育科目	※コンピュータ基礎演習	1	※基礎ゼミⅡ	1	※応用ゼミⅠ	1	※応用ゼミⅡ	1	※スポーツサイエンスⅠ	1	スポーツサイエンスⅡ	1	プレゼンテーション演習	1	環境問題を考える	2
	※基礎ゼミⅠ	1	コンピュータ応用演習	1	くらしと憲法	2									表計算応用演習	1
	※英語コミュニケーションⅠ	1	英語コミュニケーションⅡ	1												
	小計	3	小計	3	小計	3	小計	1	小計	1	小計	1	小計	1	小計	3
	基礎教育科目の計				基礎教育科目の計				基礎教育科目の計				基礎教育科目の計			
合計																16
専門教育科目	※音楽Ⅰ	1	体育Ⅱ	1	※発達心理学	2	※教育原理	2	※国語Ⅰ（書写を含む）	2	教育心理学	2	生活Ⅰ	2		
	体育Ⅰ	1	音楽Ⅱ	1	保育内容研究（人間関係Ⅰ）	1	小児栄養Ⅱ	1	児童文化論	2	国語Ⅱ	2				
	保育内容研究（健康Ⅰ）	1	保育内容研究（環境Ⅰ）	1	養護内容Ⅰ	1	教職概論	2	算数Ⅰ	2						
	保育内容研究（言葉Ⅰ）	1	乳児保育Ⅱ	1	保育内容研究（表現Ⅰ）	1	教育の方法と技術	2	教育制度論	2						
	保育内容研究Ⅰ	1	保育内容研究Ⅱ	1	保育指導法総論	2	幼児理解の理論と方法	2								
保育原理Ⅰ	2	保育原理Ⅱ	2	小児栄養Ⅰ	1	養護内容Ⅱ	1									
図画工作Ⅰ	1	図画工作Ⅱ	1	教育課程総論	2	保育内容研究（人間関係Ⅱ）	1									
小児保健Ⅰ	2	小児保健Ⅱ	2	小児保健実習	1	保育内容研究（表現Ⅱ）	1									
養護原理Ⅰ	2	保育内容研究（言葉Ⅱ）	1	障害児保育	1	乳幼児心理学	2									
乳児保育Ⅰ	1	保育内容研究（健康Ⅱ）	1	保育内容研究（環境Ⅱ）	1											
児童福祉	2															
小計	15	小計	12	小計	13	小計	14	小計	8	小計	4	小計	2	小計	0	
専門教育科目の計				専門教育科目の計				専門教育科目の計				専門教育科目の計				
合計																68
専門発展科目	社会福祉	2	社会福祉援助技術Ⅰ	1	社会福祉援助技術Ⅱ	1	保育実習ⅡA	2	※卒業研究Ⅰ	2	※卒業研究Ⅱ	2	※卒業研究Ⅲ	2	※卒業研究Ⅳ	2
			保育実習事前事後指導A	1	保育実習事前事後指導B	1	総合演習	2	家族援助論	2	教育実習事前事後指導A	1	教育実習Ⅱ	2	教職実践演習（幼稚園）	2
					保育実習ⅠA	2			子育て支援論	2	教育実習Ⅰ	2	家族心理学	2	教育相談	2
					保育実習ⅠB	2			心理学A	2	精神保健	2	地域社会とボランティア	2	知覚心理学	2
									心理学実験演習A	1	心理学B	2	心理検査法	2	学習心理学	2
								乳幼児研究法	2	心理学実験演習B	1	社会心理学	2	心理統計学	2	
												臨床心理学	2	心理検査法実習	1	
														子育て支援実践	1	
小計	2	小計	2	小計	6	小計	4	小計	11	小計	10	小計	14	小計	14	
専門発展科目の計				専門発展科目の計				専門発展科目の計				専門発展科目の計				
合計																63
専門発展科目の合計																63
合計	1年次の合計				2年次の合計				3年次の合計				4年次の合計			
	37				41				35				34			
147																

単位数合計 147

注1) 履修単位数合計は147単位

注2) 複数学年に配置されている科目は、全体の履修バランスを配慮して選択

注3) ※印は必修科目

資料18-2 小学校教諭一種免許状＋認定心理士

区分	1年次前期		1年次後期		2年次前期		2年次後期		3年次前期		3年次後期		4年次前期		4年次後期	
	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位
基礎教育科目	※コンピュータ基礎演習	1	※基礎ゼミⅡ	1	※応用ゼミⅠ	1	※応用ゼミⅡ	1	※スポーツサイエンスⅠ	1	スポーツサイエンスⅡ	1				
	※基礎ゼミⅠ	1	コンピュータ応用演習	1	生物学を知る	2	くらしと倫理学	2								
	※英語コミュニケーションⅠ	1	英語コミュニケーションⅡ	1	環境と生物を考える	2										
	くらしと憲法	2	文章表現の技術	2	情報科学	2										
	異文化コミュニケーション	2														
言語表現の基礎	2															
	小計	9	小計	5	小計	7	小計	3	小計	1	小計	1	小計	0	小計	0
	基礎教育科目の計				基礎教育科目の計				基礎教育科目の計				基礎教育科目の計			
	合計															
	26															
専門教育科目	※音楽Ⅰ	1	音楽Ⅱ	1	※発達心理学	2	※教育原理	2	※国語Ⅰ（書写を含む）	2	国語科教育法	2	理科教育法	2	生活科教育法	2
	体育Ⅰ	1	体育Ⅱ	1	教育課程総論	2	児童心理学	2	社会科教育法	2	算数科教育法	2	理科Ⅰ	2		
	図画工作Ⅰ	1	図画工作Ⅱ	1	保育内容研究（人間関係Ⅰ）	1	保育内容研究（人間関係Ⅱ）	1	特別活動の指導法	2	教育心理学	2				
					音楽Ⅲ	1	教職概論	2	生徒指導論	2	体育科教育法	2				
					教育の方法と技術	2	教育制度論	2	教育制度論	2	道徳の指導法	2				
				乳幼児心理学	2					英語科教育法	2					
										音楽科教育法	2					
	小計	3	小計	3	小計	6	小計	11	小計	10	小計	14	小計	4	小計	2
	専門教育科目の計				専門教育科目の計				専門教育科目の計				専門教育科目の計			
	合計															
	53															
専門発展科目	社会福祉	2	社会福祉援助技術Ⅰ	1	社会福祉援助技術Ⅱ	1			※卒業研究Ⅰ	2	※卒業研究Ⅱ	2	※卒業研究Ⅲ	2	※卒業研究Ⅳ	2
								心理学A	2	心理学B	2	社会心理学	2	学習心理学	2	
								心理学実験演習A	1	心理学実験演習B	1	臨床心理学	2	心理統計学	2	
								地域社会とボランティア	2			家族心理学	2	教育相談	2	
								乳幼児研究法	2			青少年問題と社会教育	2	地域作りとその手法	1	
							地域社会論	2			教育実習事前事後指導B	1	地域と多文化	2		
											教育実習B	4	教職実践演習（小学校）	2		
											心理検査法	2	地域文化論	2		
													ボランティア活動	1		
													知覚心理学	2		
													心理検査法実習	1		
	小計	2	小計	1	小計	1	小計	0	小計	11	小計	5	小計	17	小計	19
	専門発展科目の計				専門発展科目の計				専門発展科目の計				専門発展科目の計			
	合計															
	36															
	合計															
	56															
合計	1年次の合計				2年次の合計				3年次の合計				4年次の合計			
	23				28				42				42			
	135															

単位数合計 135

注1) 履修単位数合計は135単位

注2) 複数学年に配置されている科目は、全体の履修バランスを配慮して選択

注3) ※印は必修科目

資料 1 8 - 3 幼稚園教諭一種免許状＋小学校教諭一種免許状＋認定心理士

区分	1年次前期		1年次後期		2年次前期		2年次後期		3年次前期		3年次後期		4年次前期		4年次後期	
	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位
基礎教育科目	※コンピュータ基礎演習	1	※基礎ゼミⅡ	1	※応用ゼミⅠ	1	※応用ゼミⅡ	1	※スポーツサイエンスⅠ	1	スポーツサイエンスⅡ	1	社会教育を考える	2		
	※基礎ゼミⅠ	1	英語コミュニケーションⅡ	1												
	※英語コミュニケーションⅠ	1	コンピュータ応用演習	1												
	くらしと憲法 言語表現の基礎	2 2	文章表現の技術	2												
	小計	7	小計	5	小計	1	小計	1	小計	1	小計	1	小計	2	小計	0
	基礎教育科目の計				基礎教育科目の計				基礎教育科目の計				基礎教育科目の計			
													合計			
													18			
専門教育科目	※音楽Ⅰ	1	体育Ⅱ	1	※発達心理学	2	※教育原理	2	※国語Ⅰ（書写を含む）	2	英語科教育法	2	理科教育法	2	生活科教育法	2
	体育Ⅰ	1	保育内容研究（健康Ⅱ）	1	保育内容研究（人間関係Ⅰ）	1	乳幼児心理学	2	教育制度論	2	国語科教育法	2	生活Ⅰ	2		
	保育内容研究（健康Ⅰ）	1	保育内容研究（環境Ⅰ）	1	保育内容研究（環境Ⅱ）	1	保育内容研究（人間関係Ⅱ）	1	生徒指導論	2	体育科教育法	2				
	保育内容研究（言葉Ⅰ）	1	保育内容研究（言葉Ⅱ）	1	保育内容研究（表現Ⅰ）	1	保育内容研究（表現Ⅱ）	1	社会科教育法	2	教育心理学	2				
保育内容研究Ⅰ	1	保育内容研究Ⅱ	1	保育指導法総論	2	児童心理学	2	特別活動の指導法	2	算数科教育法	2					
図画工作Ⅰ	1	音楽Ⅱ	1	教育課程総論	2	教育の方法と技術	2	子どもの英語	1	道徳の指導法	2					
			音楽Ⅲ	1	幼児理解の理論と方法	2	教職概論	2			音楽科教育法	2				
			図画工作Ⅱ	1												
	小計	6	小計	7	小計	10	小計	14	小計	11	小計	14	小計	4	小計	2
	専門教育科目の計				専門教育科目の計				専門教育科目の計				専門教育科目の計			
													合計			
													68			
専門発展科目									※卒業研究Ⅰ	2	※卒業研究Ⅱ	2	※卒業研究Ⅲ	2	※卒業研究Ⅳ	2
									乳幼児研究法	2	教育実習事前事後指導A	1	青少年問題と社会教育	2	ボランティア活動	1
									心理学A	2	教育実習Ⅰ	2	社会心理学	2	知覚心理学	2
									心理学実験演習A	1	心理学B	2	家族心理学	2	教育相談	2
										心理学実験演習B	1	臨床心理学	2	心理統計学	2	
												指導案研究C	1	教職実践演習（幼稚園）	2	
												教育実習A	2	教職実践演習（小学校）	2	
												教育実習事前事後指導B	1	学習心理学	2	
												心理検査法	2	心理検査法実習	1	
												地域社会とボランティア	2			
	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0	小計	7	小計	8	小計	18	小計	16
	専門発展科目の計				専門発展科目の計				専門発展科目の計				専門発展科目の計			
													合計			
													49			
合計	1年次の合計				2年次の合計				3年次の合計				4年次の合計			
	25				26				42				42			
																135

単位数合計 135

注1) 履修単位数合計は135単位

注2) 複数学年に配置されている科目は、全体の履修バランスを考慮して選択

注3) ※印は必修科目

資料 20 実習計画

(教育実習実施計画に関する書類)

教育実習 A・教育実習 B の実施計画 (小学校実習)
1 教育実習の内容及び成績評価等
①教育実習の時期 教育実習 A：4 年次前学期 9 月 教育実習 B：4 年次前学期 9 月
②教育実習期間・総時間数 教育実習 A：10 日間・90 時間 教育実習 B：20 日間・180 時間
③教育実習園の確保の方法 実習指導委員会において各実習生に応じた実習先を選定し、その決定を受けて実習支援センターが各市町村の教育委員会へ依頼する。
④教育実習内容 教育実習 A：1) 授業参観 (40 時間) 2) 授業実習 (30 時間) 3) 研究授業 (20 時間) 4) 教材および指導法の研究 5) 学級経営 6) 放課後の研究指導 7) 特別活動への参加・指導 8) 行事等教育活動への参加 教育実習 B：1) 授業参観 (80 時間) 2) 授業実習 (50 時間) 3) 研究授業 (50 時間) 4) 教材および指導法の研究 5) 学級経営 6) 放課後の研究指導 7) 特別活動への参加・指導 8) 行事等教育活動への参加
⑤教育実習生に対する指導の方法 教育実習担当教員が実習期間中に実習校を巡回し、担当の指導教諭との打合せを経て、指導を行う。
⑥教育実習の成績評価 実習校からの評価 (50%) と教育実習担当教員・学科教員による実習録の評価 (40%) および実習報告会 (10%) を合算した総合評価 (100%) で行う。なお、その際以下の点をポイントとする。 ○授業や児童を観察し的確な記録ができた。 ○授業内や休み時間等において児童と適切な関わりができた。 ○学級の学習状況に合致した指導案を計画することができた。 ○指導案の流れを踏まえて授業を展開することができた。 ○学級運営の方法を習得することができた。 ○さまざまな教育活動の場面に積極的に参加することができた。

2 事前及び事後の指導の内容等

①時期及び時間数

対象科目：「教育実習事前事後指導B」

開講時期：4年次前学期

時間数：事前指導（22時間） 事後指導（8時間）

②内容（具体的な指導項目）

○事前指導

- ①教育職員としての心構え
- ②教育実習の全体的な流れの解説
- ③教育実習にあたっての基本的留意事項
- ④ビデオ体験「教育実習」の視聴と解説
- ⑤学校の指導計画の解説
- ⑥学校組織（校務分掌等）の解説
- ⑦指導案作成の具体的方法についての解説
- ⑧教科外指導についての解説
- ⑨学級運営にあたっての実際的解説
- ⑩学校教育法と教育実習の関係についての解説

○事後指導

- ①実習報告会の実施
 - ・実習の反省：問題点の整理と対策（まとめ・発表・討議）
 - ・実習校教諭との質疑と意見交換
- ②教科別教員によるフィードバック
- ③教育実習の結果を踏まえた教材研究並びに指導案の再検討
- ④教育実習担当教員による講評と教諭となるための今後の課題等の講義

3 教育実習に関して連絡調整等を行う委員会・協議会等（以下「委員会等」という。）

①大学内の各学部・学科等との連絡調整を行う委員会等

・委員会等の名称

- 実習指導委員会
- 実習支援センター
- 教務委員会

・委員会等の構成員（役職・人数など）

- 実習指導委員会（委員長1名・委員2名）
- 実習支援センター（センター長1名・センター員4名）
- 教務委員会（委員長1名・委員3名）

・委員会等の運営方法

学生の実習を円滑に進めるために、大学内に「実習指導委員会」を設置し、学生の実習に関わる諸問題について「教務委員会」や「学科会議」と連携しながら定期的に協議し、学生の実習指導を行う。また、実習先との窓口は「実習支援センター」が担う。それぞれの組織の役割と関係は次のとおりである。

それぞれの役割については、以下に示すとおりである。

学科会議

子ども教育学科として実習に関する基本的方針を決定する。また、実習受け入れ施設からの要望や苦情に対応する。

実習指導委員会

大学学部と短期大学部の実習計画を調整し、実習指導の方法について定期的に協議し改善を図る。苦情やトラブル等については、実習指導センターをとおして実習受け入れ施設と協議して解決を図る。

実習支援センター

実習指導委員会と連携を図りながら、各実習受け入れ施設に実習の依頼をする。実習に関す

る事務全般の業務を担当する。実習受け入れ施設から報告された些細な苦情やトラブルは、実習指導委員会の指示にしたがって対応する。

教務委員会

子ども教育学科や実習指導委員会と連携を図りながら、教育課程における実習のあり方について検討する。

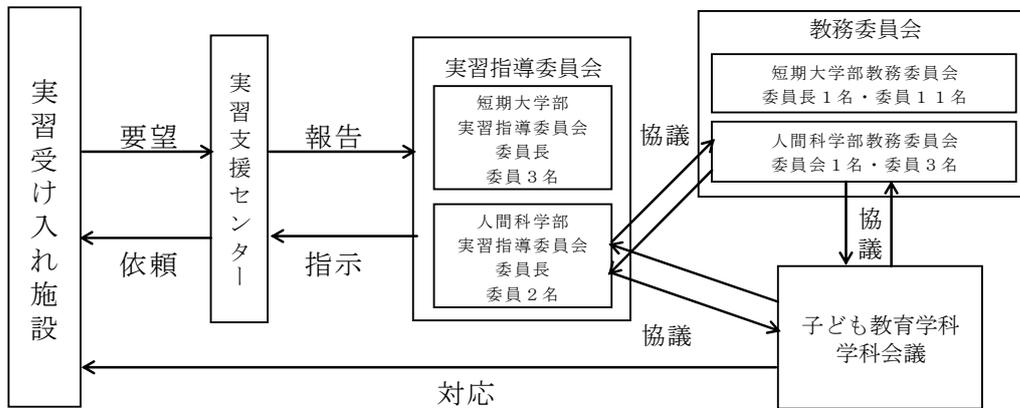


図10-1. 実習の指導体制

②大学外の関係機関（例：都道府県及び市区町村教育委員会など）との連絡調整等を行う委員会等

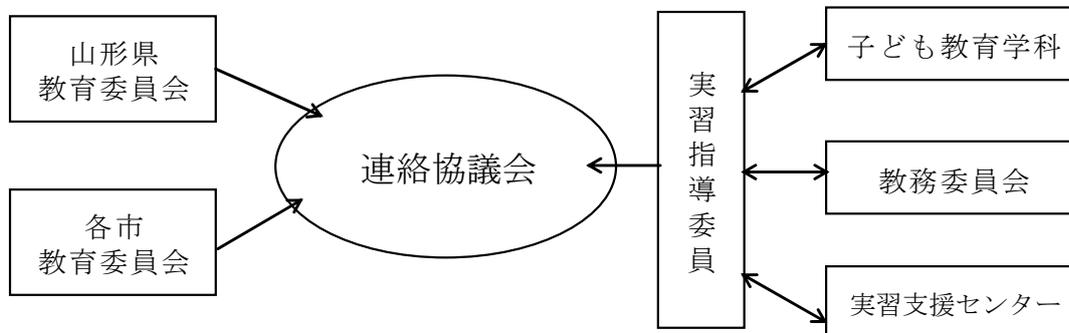
- ・委員会等の名称
 - 実習指導委員会
- ・委員会等の構成員（役職・人数など）
 - 実習指導委員会（委員長1名・委員2名）
- ・委員会等の運営方法

実習計画の策定、実習指導の実施、実習後の問題点と課題等について、実習校と定期的に連絡協議会を開催し、実習の円滑な実施と内容の充実および実習効果の向上を図る。

小学校の教育実習に関しては、山形県教育委員会および山形市近郊の市教育委員会と実習指導委員会の教員が年2回の会議を開催する。1回目は教育実習前（6月中旬頃）に、過年度の実習の問題点と当年度の実施計画について、第2回目は教育実習後（12月中旬頃）に、当年度の実習の評価・反省、次年度の実習計画について協議する。

連絡協議会の主な協議事項は、実習内容（実習目標・実習計画・進め方、記録の記載方法）、評価方法・カリキュラム・実習指導および前年度の実習状況、評価、次年度の実施計画等に関する内容である。

【委員会の組織図】



4 教育実習の受講資格

①以下にあげる科目を履修済みであること。

くらしと憲法、英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ、コンピュータ基礎演習、コンピュータ応用演習、発達心理学、国語Ⅰ（書写を含む）、音楽Ⅰ、教育原理、教育の方法と技術

②以下にあげる科目を履修済みまたは履修中であること

教育課程総論、教職概論、教育制度論、音楽Ⅱ、体育Ⅰ、体育Ⅱ、図画工作Ⅰ、図画工作Ⅱ、教育実習事前事後指導B、指導案研究C、国語科教育法、社会科教育法、理科教育法、音楽科教育法、図画工作科教育法、家庭科教育法、体育科教育法、道徳の指導法、特別活動の指導法、生徒指導論、教育相談

③実習指導委員会による適格性の判断の結果、教育実習に臨むに値すると認められた者

5 実習校

1	学校名	山形市立第一小学校（山形県山形市本町 1-5-24）	学級数：12	児童数：242人
	教員数	24人（内訳） 教諭22人、助教諭1人、講師1人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
2	学校名	山形市立第二小学校（山形県山形市香澄町 3-9-38）	学級数：18	児童数：422人
	教員数	22人（内訳） 教諭20人、助教諭1人、講師1人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
3	学校名	山形市立第三小学校（山形県山形市宮町 5-7-58）	学級数：16	児童数：398人
	教員数	28人（内訳） 教諭25人、助教諭2人、講師1人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
4	学校名	山形市立第四小学校（山形県山形市相生町 4-37）	学級数：8	児童数：222人
	教員数	12人（内訳） 教諭10人、助教諭1人、講師1人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
5	学校名	山形市立第五小学校（山形県山形市東原町 1-1-9）	学級数：15	児童数：313人
	教員数	19人（内訳） 教諭15人、助教諭1人、講師3人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
6	学校名	山形市立第六小学校（山形県山形市鉄砲町 2-9-55）	学級数：21	児童数：544人
	教員数	32人（内訳） 教諭29人、助教諭1人、講師2人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
7	学校名	山形市立第七小学校（山形県山形市城北町 2-9-37）	学級数：19	児童数：453人
	教員数	28人（内訳） 教諭23人、助教諭2人、講師2人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
8	学校名	山形市立第八小学校（山形県山形市小白川町 2-8-36）	学級数：20	児童数：487人
	教員数	29人（内訳） 教諭25人、助教諭1人、講師3人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
9	学校名	山形市立第九小学校（山形県山形市馬見ヶ崎 2-5-1）	学級数：16	児童数：482人
	教員数	23人（内訳） 教諭20人、助教諭1人、講師2人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
10	学校名	山形市立第十小学校（山形県山形市やよい 2-6-1）	学級数：21	児童数：552人
	教員数	29人（内訳） 教諭25人、助教諭1人、講師3人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
11	学校名	山形市立鈴川小学校（山形県山形市鈴川町 3-7-10）	学級数：29	児童数：808人
	教員数	37人（内訳） 教諭32人、助教諭1人、講師2人、養護教諭3人、栄養教諭1人		
12	学校名	山形市立千歳小学校（山形県山形市落合町 1359）	学級数：17	児童数：398人
	教員数	22人（内訳） 教諭20人、助教諭1人、講師1人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
13	学校名	山形市立金井小学校（山形県山形市陣場 3-7-60）	学級数：27	児童数：725人
	教員数	35人（内訳） 教諭32人、助教諭1人、講師2人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
14	学校名	山形市立大郷小学校（山形県山形市大字中野 506）	学級数：7	児童数：207人
	教員数	11人（内訳） 教諭10人、助教諭1人、講師1人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
15	学校名	山形市立明治小学校（山形県山形市大字灰塚 454）	学級数：7	児童数：214人
	教員数	11人（内訳） 教諭10人、助教諭1人、講師1人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
16	学校名	山形市立出羽小学校（山形県山形市大字漆山 3169）	学級数：15	児童数：355人
	教員数	19人（内訳） 教諭17人、助教諭1人、講師1人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
17	学校名	山形市立楯山小学校（山形県山形市大字青柳字一本木 64）	学級数：10	児童数：223人
	教員数	15人（内訳） 教諭12人、助教諭1人、講師2人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
18	学校名	山形市立高瀬小学校（山形県山形市大字下東山 1264）	学級数8：	児童数：206人
	教員数	12人（内訳） 教諭11人、助教諭1人、講師1人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
19	学校名	山形市立山寺小学校（山形県山形市山寺 1650）	学級数：6	児童数：64人
	教員数	9人（内訳） 教諭8人、助教諭1人、講師1人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
20	学校名	山形市立東沢小学校（山形県山形市防原町 4-15）	学級数：10	児童数：224人
	教員数	14人（内訳） 教諭12人、助教諭1人、講師1人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
21	学校名	山形市立滝山小学校（山形県山形市小立 4-13-86）	学級数：29	児童数：826人
	教員数	37人（内訳） 教諭33人、助教諭1人、講師2人、養護教諭1人、栄養教諭1人		

22	学校名	山形市立南沼原小学校（山形県山形市富の中 1-1-4）	学級数：35	児童数：973人
	教員数	46人（内訳） 教諭40人、助教諭1人、講師4人、養護教諭2人、栄養教諭1人		
23	学校名	山形市立蔵王第一小学校（山形県山形市成沢西 4-3-17）	学級数：20	児童数：493人
	教員数	25人（内訳） 教諭21人、助教諭1人、講師3人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
24	学校名	山形市立蔵王第二小学校（山形県山形市蔵王上野字南坂 2116）	学級数：7	児童数：140人
	教員数	12人（内訳） 教諭11人、助教諭1人、講師1人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
25	学校名	山形市立蔵王第三小学校（山形県山形市蔵王温泉字丈二田 727）	学級数：3	児童数：18人
	教員数	7人（内訳） 教諭5人、助教諭1人、講師1人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
26	学校名	山形市立南山形小学校（山形県山形市大字松原字東河原 188）	学級数：15	児童数：351人
	教員数	21人（内訳） 教諭19人、助教諭1人、講師1人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
27	学校名	山形市立本沢小学校（山形県山形市長谷堂 1111-1）	学級数：7	児童数：150人
	教員数	11人（内訳） 教諭10人、助教諭1人、講師1人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
28	学校名	山形市立西山形小学校（山形県山形市大字柏倉 888）	学級数：7	児童数：112人
	教員数	11人（内訳） 教諭10人、助教諭1人、講師1人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
29	学校名	山形市立双葉小学校（山形県山形市大字門伝 2836）	学級数：.	児童数：12人
	教員数	6人（内訳） 教諭5人、助教諭1人、講師1人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
30	学校名	山形市立村木沢小学校（山形県山形市村木沢 6046）	学級数：6	児童数：127人
	教員数	10人（内訳） 教諭9人、助教諭1人、講師1人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
31	学校名	山形市立大曾根小学校（山形県山形市大字上反田 278）	学級数：7	児童数：82人
	教員数	11人（内訳） 教諭10人、助教諭1人、講師1人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
32	学校名	山形市立南小学校（山形県山形市青田 2-1-1）	学級数：21	児童数：587人
	教員数	29人（内訳） 教諭25人、助教諭1人、講師3人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
33	学校名	山形市立西小学校（山形県山形市西田 3-2-1）	学級数：20	児童数：482人
	教員数	26人（内訳） 教諭22人、助教諭1人、講師3人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
34	学校名	山形市立東小学校（山形県山形市泉町 19-31）	学級数：17	児童数：404人
	教員数	21人（内訳） 教諭20人、助教諭1人、講師1人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
35	学校名	山形市立宮町小学校（山形県山形市宮浦 17-3）	学級数：15	児童数：379人
	教員数	19人（内訳） 教諭16人、助教諭1人、講師2人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
36	学校名	山形市立桜田小学校（山形県山形市桜田東 1-1-30）	学級数：19	児童数：486人
	教員数	25人（内訳） 教諭22人、助教諭1人、講師2人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
37	学校名	山形市立みはらしの丘小学校（山形県山形市大字松原 1791-23）	学級数：10	児童数：166人
	教員数	14人（内訳） 教諭12人、助教諭1人、講師1人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
38	学校名	上山市立上山小学校（山形県上山市元城内 5-5）	学級数：22	児童数：562人
	教員数	32人（内訳） 教諭26人、助教諭1人、講師5人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
39	学校名	上山市立西郷第一小学校（山形県上山市阿弥陀地字上原 906-1）	学級数：6	児童数：59人
	教員数	10人（内訳） 教諭9人、助教諭1人、講師1人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
40	学校名	上山市立西郷第二小学校（山形県上山市高松字南沢 1335）	学級数：5	児童数：46人
	教員数	8人（内訳） 教諭6人、助教諭1人、講師1人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
41	学校名	上山市立本庄小学校（山形県上山市皆沢字宝 126-1）	学級数：6	児童数：65人
	教員数	10人（内訳） 教諭9人、助教諭1人、講師1人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
42	学校名	上山市立東小学校（山形県上山市須田板字原際 784-1）	学級数：6	児童数：55人
	教員数	10人（内訳） 教諭9人、助教諭1人、講師1人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
43	学校名	上山市立宮生小学校（山形県上山市下生居字森 752）	学級数：5	児童数：49人
	教員数	8人（内訳） 教諭6人、助教諭1人、講師1人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
44	学校名	上山市立中川小学校（山形県上山市金谷字水神河原 1189-2）	学級数：7	児童数：133人
	教員数	12人（内訳） 教諭10人、助教諭1人、講師1人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
45	学校名	上山市立中山小学校（山形県上山市中山字壁屋敷 5608）	学級数：3	児童数：19人
	教員数	6人（内訳） 教諭5人、助教諭1人、講師1人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
46	学校名	上山市立南小学校（山形県上山市けやきの森 1-1）	学級数：27	児童数：732人
	教員数	32人（内訳） 教諭28人、助教諭1人、講師3人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
47	学校名	天童市立天童中部小学校（山形県天童市老野森 2-6-4）	学級数：28	児童数：763人
	教員数	38人（内訳） 教諭32人、助教諭1人、講師5人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
48	学校名	天童市立天童中部小学校（山形県天童市老野森 2-6-4）	学級数：7	児童数：178人
	教員数	11人（内訳） 教諭10人、助教諭1人、講師1人、養護教諭1人、栄養教諭1人		

49	学校名	天童市立成生小学校（山形県天童市高木 836）	学級数：10	児童数：234 人
	教員数	14 人（内訳） 教諭 12 人、助教諭一人、講師 1 人、養護教諭 1 人、栄養教諭一人		
50	学校名	天童市立蔵増小学校（山形県天童市蔵増 676）	学級数：7	児童数：194 人
	教員数	11 人（内訳） 教諭 10 人、助教諭一人、講師一人、養護教諭 1 人、栄養教諭一人		
51	学校名	天童市立寺津小学校（山形県天童市寺津 1350）	学級数：6	児童数：93 人
	教員数	10 人（内訳） 教諭 9 人、助教諭一人、講師一人、養護教諭 1 人、栄養教諭一人		
52	学校名	天童市立高揃小学校（山形県天童市高揃北 239）	学級数：7	児童数：206 人
	教員数	12 人（内訳） 教諭 10 人、助教諭一人、講師 1 人、養護教諭 1 人、栄養教諭一人		
53	学校名	天童市立干布小学校（山形県天童市干布 580）	学級数：7	児童数：148 人
	教員数	11 人（内訳） 教諭 10 人、助教諭一人、講師一人、養護教諭 1 人、栄養教諭一人		
54	学校名	天童市立津山小学校（山形県天童市貫津 591）	学級数：8	児童数：130 人
	教員数	16 人（内訳） 教諭 15 人、助教諭一人、講師一人、養護教諭 1 人、栄養教諭一人		
55	学校名	天童市立荒谷小学校（山形県天童市大字荒谷 7857）	学級数：8	児童数：109 人
	教員数	12 人（内訳） 教諭 11 人、助教諭一人、講師一人、養護教諭 1 人、栄養教諭一人		
56	学校名	天童市立天童南部小学校（山形県天童市鶴田 4-2-10）	学級数：26	児童数：703 人
	教員数	34 人（内訳） 教諭 29 人、助教諭一人、講師 3 人、養護教諭 1 人、栄養教諭一人		
57	学校名	天童市立天童北部小学校（山形県天童市乱川 4-2-25）	学級数：19	児童数：496 人
	教員数	24 人（内訳） 教諭 21 人、助教諭一人、講師 2 人、養護教諭 1 人、栄養教諭一人		
58	学校名	天童市立長岡小学校（山形県天童市長岡 3-3-1）	学級数：17	児童数：424 人
	教員数	21 人（内訳） 教諭 19 人、助教諭一人、講師 1 人、養護教諭 1 人、栄養教諭一人		

(教育実習実施計画に関する書類)

教育実習Ⅰ・教育実習Ⅱの実施計画(幼稚園実習)

1 教育実習の内容及び成績評価等

①教育実習の時期

教育実習Ⅰ：3年次後学期 10月～2月
教育実習Ⅱ：4年次前学期 6月

②教育実習期間・総時間数

教育実習Ⅰ：10日間・90時間
教育実習Ⅱ：10日間・90時間

③教育実習園の確保の方法

教育実習Ⅰについては本学付属幼稚園において実施する。
教育実習Ⅱについては学外の幼稚園での実施とし、学科専任教員が各実習生に応じた実習先を選定し、実習支援センターを通して依頼する。

④教育実習内容

教育実習Ⅰ：見学・観察・参加・責任実習

1) 見学・観察実習の内容

- 一日の保育の流れの観察と記録
- 保育室などの物的環境の把握と記録
- 遊びと生活習慣の観察と記録
- 保育者の援助の観察と記録
- 幼児の行動の観察と記録
- 異年齢児の観察と記録および考察
- エピソードの記録と考察

2) 参加実習の内容

- 自己紹介(自己表現)
- 素話
- 生活習慣の指導

3) 責任実習

- 遊びの部分案の作成
- 遊びの部分実習

4) 実習課題

- 保育や幼児を観察し的確な記録をとること
- 幼児の生活や遊びに対して、幼児と適切な関わりができること
- 幼児の発達段階を捉えた遊びの指導ができること

教育実習Ⅱ：観察・参加・責任実習

1) 観察に関する事

- 実習園の環境整備についての観察
- 幼稚園教諭の職務の内容と役割についての観察
- 幼児の園内生活についての観察
- 幼児の心身状況についての観察
- 幼児への指導法についての観察

2) 保育実践に関する事

- 保育指導案の作成
- 指導実践による指導技術の習得
- 保育に関する実務能力の習得
- 保育の展開

3) 実習録に関する事

- 実習録の作成と提出
- 4) 実習課題
 - 幼児の実態についての理解
 - 幼児の指導法についての理解
 - 保育者の仕事についての理解
 - 保育指導案の作成
 - 保育指導案に基づいた責任（部分）実習
 - 保育指導案に基づいた責任（全日）実習

⑤教育実習生に対する指導の方法

教育実習担当教員が実習期間中に実習校を巡回し、担当の指導教諭との打合せを経て、指導を行う。

⑥教育実習の成績評価

実習校からの評価（50%）と教育実習担当教員・学科教員による実習録の評価（40%）および実習報告会（10%）を合算した総合評価（100%）で行う。なお、その際以下の点をポイントとする。

教育実習Ⅰ：○保育や幼児を観察し的確な記録ができた。
 ○幼児の生活や遊びに対して、幼児と適切な関わりができた。
 ○幼児の発達段階を捉えた遊びの指導ができた。

教育実習Ⅱ：○保育や幼児を観察し的確な記録ができた。
 ○幼児の生活や遊びに対して、幼児と適切な関わりができた。
 ○遊びなどの保育指導案を計画することができた。
 ○幼児に対して保育指導案に基づいた指導ができた。

2 事前及び事後の指導の内容等

①時期及び時間数

対象科目：「教育実習事前事後指導A」
 開講時期：3年次後学期
 時間数：事前指導（22時間） 事後指導（8時間）

②内容（具体的な指導項目）

- 教育実習Ⅰ：「教育実習事前事後指導A」
- 教育実習Ⅰの目的とねらい
 - 幼稚園教育の目的と幼児期の発達特性の理解
 - 幼稚園教育の実際（現職教諭からの講話）
 - 保育者の実務（現職教諭からの講話）
 - 幼稚園の環境と援助の実際（現職教諭からの講話）
 - 付属幼稚園への事前訪問（配属クラスの教諭からの講話）
 - 「自己紹介」の模擬実践
 - 「遊び」の模擬実践（グループ実践）
 - 教育課程と保育計画
 - 保育の観察点と実習録の記入方法
 - 実習の心構えと心得
 - 本人による「自己評価」の記入と振り返り
 - 実習報告会の実施 実習の反省：問題点の整理と対策（まとめ・発表・討議）
 - 全体的フィードバック
 - 実習園からの評価と本人による「自己評価」等に基づく個別面談（実習フォローアップ）

○事前指導

●事後指導

3 教育実習に関して連絡調整等を行う委員会・協議会等（以下「委員会等」という。）

①大学内の各学部・学科等との連絡調整を行う委員会等

- ・委員会等の名称
 - 実習指導委員会
 - 実習支援センター
 - 教務委員会
- ・委員会等の構成員（役職・人数など）
 - 実習指導委員会（委員長1名・委員2名）
 - 実習支援センター（センター長1名・センター員4名）
 - 教務委員会（委員長1名・委員3名）
- ・委員会等の運営方法

学生の実習を円滑に進めるために、大学内に「実習指導委員会」を設置し、学生の実習に関わる諸問題について「教務委員会」や「学科会議」と連携しながら定期的に協議し、学生の実習指導を行う。また、実習先との窓口は「実習支援センター」が担う。それぞれの組織の役割と関係は次のとおりである。

それぞれの役割については、以下に示すとおりである。

学科会議

子ども教育学科として実習に関する基本的方針を決定する。また、実習受け入れ施設からの要望や苦情に対応する。

実習指導委員会

大学学部と短期大学部の実習計画を調整し、実習指導の方法について定期的に協議し改善を図る。苦情やトラブル等については、実習指導センターをとおして実習受け入れ施設と協議して解決を図る。

実習支援センター

実習指導委員会と連携を図りながら、各実習受け入れ施設に実習の依頼をする。実習に関する事務全般の業務を担当する。実習受け入れ施設から報告された些細な苦情やトラブルは、実習指導委員会の指示にしたがって対応する。

教務委員会

子ども教育学科や実習指導委員会と連携を図りながら、教育課程における実習のあり方について検討する。

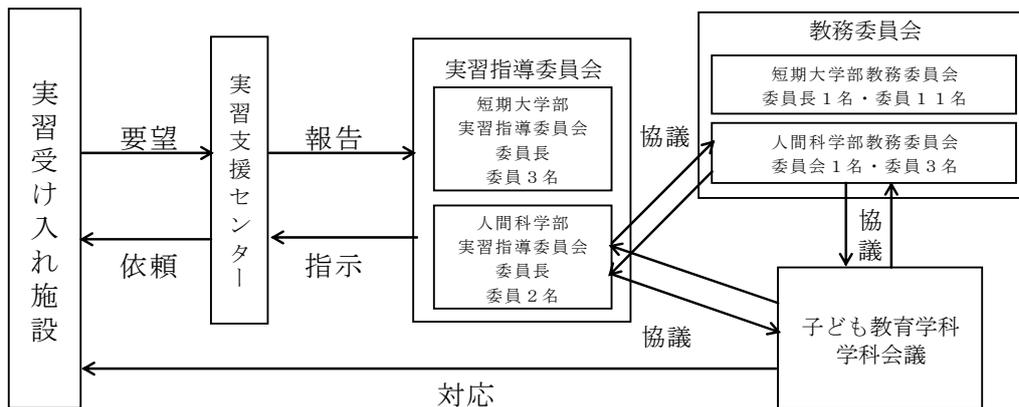


図10-1. 実習の指導体制

②大学外の関係機関（例：都道府県及び市区町村教育委員会など）との連絡調整等を行う委員会等

- ・委員会等の名称
 - 実習指導委員会
- ・委員会等の構成員（役職・人数など）
 - 実習指導委員会（委員長1名・委員2名）

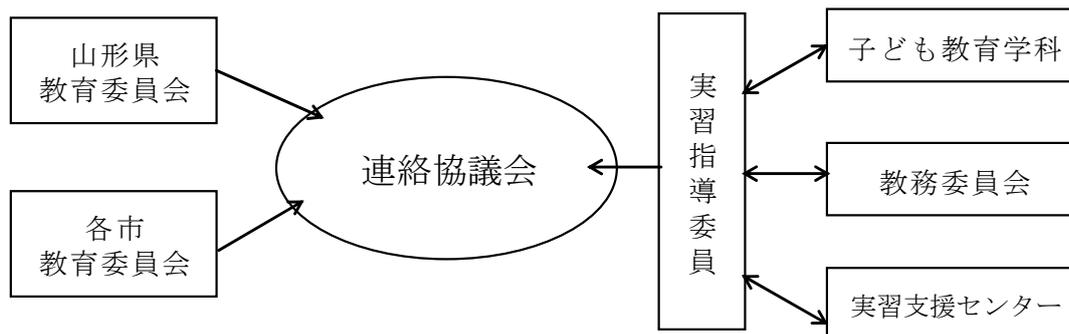
・委員会等の運営方法

実習計画の策定、実習指導の実施、実習後の問題点と課題等について、実習校と定期的に連絡協議会を開催し、実習の円滑な実施と内容の充実および実習効果の向上を図る。

小学校の教育実習に関しては、山形県教育委員会および山形市近郊の市教育委員会と実習指導委員会の教員が年2回の会議を開催する。1回目は教育実習前（6月中旬頃）に、過年度の実習の問題点と当年度の実施計画について、第2回目は教育実習後（12月中旬頃）に、当年度の実習の評価・反省、次年度の実習計画について協議する。

連絡協議会の主な協議事項は、実習内容（実習目標・実習計画・進め方、記録の記載方法）、評価方法・カリキュラム・実習指導および前年度の実習状況、評価、次年度の実施計画等に関する内容である。

【委員会の組織図】



4 教育実習の受講資格

①以下にあげる科目を履修済みであること。

くらしと憲法、英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ、コンピュータ基礎演習、コンピュータ応用演習、保育内容研究Ⅰ・Ⅱ、教育課程総論、教育原理、保育指導法総論、発達心理学、教育の方法と技術、音楽Ⅰ、図画工作Ⅰ、体育Ⅰ

②以下にあげる科目を履修済みまたは履修中であること。

スポーツサイエンスⅠ・Ⅱ、国語Ⅰ（書写を含む）、保育内容研究（健康Ⅰ・Ⅱ）、保育内容研究（人間関係Ⅰ・Ⅱ）、保育内容研究（環境Ⅰ・Ⅱ）、保育内容研究（言葉Ⅰ・Ⅱ）、保育内容研究（表現Ⅰ・Ⅱ）、教育実習事前事後指導A、指導案研究B、

③実習指導委員会による適格性の判断の結果、教育実習に臨むに値すると認められた者

5 実習校

【幼稚園(教育実習Ⅰ)】

No.	人数	公	園名	所在地	〒
1	90		山形短期大学附属幼稚園	山形県山形市片谷地515	990-2316

【幼稚園(教育実習Ⅱ)】

No.	人数	公	園名	所在地	〒
1	2		山形短期大学附属幼稚園	山形県山形市片谷地515	990-2316
2	3		竹田幼稚園	山形県山形市城西町3-13-7	990-0832
3	3		べにばな幼稚園	山形県山形市伊達城2-9-7	990-2163
4	2		金井幼稚園	山形県山形市江俣3-5-10	990-0861
5	3		南山形幼稚園	山形県山形市大字松原159-4	990-2313
6	3		千歳幼稚園	山形県山形市緑町1-4-20	990-0041
7	2		東原幼稚園	山形県山形市東原町2-3-26	990-0034
8	2		さゆり幼稚園	山形県山形市本町2-1-24	990-0043
9	2		大谷幼稚園	山形県山形市緑町3-7-67	990-0041
10	3		諏訪幼稚園	山形県山形市諏訪町1-1-13	990-0033

11	2	南光幼稚園	山形県山形市八日町2-3-45	990-0037
12	2	山形聖マリア幼稚園	山形県山形市香澄町2-11-15	990-0039
13	2	月かげ幼稚園	山形県山形市馬見ヶ崎1-1-10	990-0810
14	2	出羽大谷幼稚園	山形県山形市漆山2972-7	990-2161
15	3	ひまわり幼稚園	山形県山形市大字片谷地59	990-2316
16	2	さくらんぼ幼稚園	山形県山形市大字長谷堂1111-3	990-2363
17	2	蔵王めぐみ幼稚園	山形県山形市蔵王成沢45-1	990-2334
18	3	南沼原ひまわり幼稚園	山形県山形市高堂1-7-30	990-2464
19	2	金井第二幼稚園	山形県山形市陣場3-12-60	990-0864
20	2	竹田西部幼稚園	山形県山形市飯塚町922-1	990-0845
21	2	あおぞら幼稚園	山形県山形市青田2-9-1	990-2435
22	2	松波大谷幼稚園	山形県山形市東山形2-10-5	990-0022
23	2	上山幼稚園	山形県上山市旭町3-1-23	999-3106
24	2	かしのき幼稚園	山形県上山市泉川字東河原360	999-3105
25	2	天童幼稚園	山形県天童市小路2-1-45	994-0032
26	2	天童みくに幼稚園	山形県天童市三日町2-6-29	994-0033
27	3	あけぼの幼稚園	山形県天童市北久野本5-11-31	994-0011
28	2	やまべ幼稚園	山形県山辺町山辺1502-3	990-0301
29	2	ゆりかご幼稚園	山形県山辺町山辺5160	990-0301
30	1	ながさき幼稚園	山形県中山町大字長崎4259-1	990-0401
31	2	寒河江幼稚園	山形県寒河江市本町3-6-2	991-0031
32	2	寒河江大谷幼稚園	山形県寒河江市本町2-3-43	991-0031
33	1	河北幼稚園	山形県河北町谷地字所岡46-1	999-3511
34	1	ひかり幼稚園	山形県河北町谷地乙98	999-3511
35	1	神町幼稚園	山形県東根市神町南1-5-20	999-3765
36	1	ひがしね幼稚園	山形県東根市中央2-14-13	999-3711
37	2	米沢中央幼稚園	山形県米沢市中央7-5-70-5	992-0045
38	2	米沢幼稚園	山形県米沢市中央3-6-45	992-0045
39	2	宮内幼稚園	山形県南陽市宮内3395	992-0472
40	2	つばめ幼稚園	山形県南陽市郡山70-1	999-2241
41	2	まつかわ幼稚園	山形県高畠町大字福沢38	999-2174
42	1	小松幼稚園	山形県川西町中小松3077	999-0122
43	2	小桜幼稚園	山形県長井市中道1-7-5	993-0053
44	2	長井めぐみ幼稚園	山形県長井市屋城町6-58	993-0002
合計	90			

(保育実習実施計画に関する書類)

保育実習ⅠA・保育実習ⅡAの実施計画（保育所実習）	
1	保育実習の内容及び成績評価等
①	保育実習の時期 保育実習ⅠA：2年次前学期 9月 保育実習ⅡA：2年次後学期 2月
②	保育実習期間・総時間数 保育実習ⅠA：10日間・90時間 保育実習ⅡA：10日間・90時間
③	保育実習園の確保の方法 学科専任教員が各実習生に応じた実習先を選定し、実習支援センターを通して依頼する。
④	保育実習内容 保育実習ⅠA：見学・観察・参加実習（指導案作成による保育実習は含まない） 1) 見学・観察による保育の基礎理解に関すること ○実習園の沿革や保育理念などについての理解 ○保育所の機能と役割の理解 ○乳幼児の生活習慣とデイリープログラムの理解 ○乳幼児の発達の理解 ○実習園における保育・養護計画の理解 ○保育士その他の職種の職務内容と役割の理解 ○保育士と保護者との関わりの観察を通して子育て支援の理解 ○保育士としての職業倫理の理解 ○健康・安全・衛生への配慮についての理解 2) 保育実践に関すること ○養護面や指導面における保育士としてめ態度と技術の習得 ○設定遊び・自由遊びへの援助 ○保育内容の各領域とその体系、指導技術の習得 3) 実習録に関すること ○実習録の記入・提出 4) 実習課題 ○保育士として職務を体験し、業務内容を理解すること ○保育の現場を知ること ○実践を通して保育士の役割を理解すること ○生活や遊びの一部を担当し、保育技術を習得すること 保育実習ⅡA：観察・参加・責任実習 1) 観察による保育の基礎理解に関すること ○乳幼児の生活習慣とデイリープログラムの理解 ○乳幼児の成長の理解 ○乳幼児の個人差についての理解と、その対応についての理解 ○実習園における保育・養護計画の理解 ○保育士その他の職種の職務内容と役割の理解 ○実習園と地域社会に対する理解と、その連携の方法についての理解 ○保育所の子育て機能と社会的役割の理解 ○保育士としての職業倫理の理解 2) 保育実践に関すること ○養護面や指導面における保育士としての態度と技術の習得 ○設定遊び・自由遊びの展開 ○保育内容の各領域とその体系、指導技術の習得 ○日案・部分案の立案と実践 3) 実習録に関すること ○実習録の記入と提出

4) 実習課題

- 保育士として職務を体験し、業務内容を理解すること
- 保育の現場を知ること
- 実践を通して保育士の役割を理解すること
- 保育技術を習得すること
- 指導案を立案し、計画に基づいて保育を実践すること
- 実践を通して自己課題を明確にすること

保育実習生に対する指導の方法

保育実習担当教員が実習期間中に実習園を巡回し、担当の保育者との打合せを経て、指導を行う。

⑥保育実習の成績評価

実習園からの評価（50%）と保育実習担当教員・学科教員による実習録の評価(40%)および実習報告会（10%）を合算した総合評価（100%）で行う。なお、その際以下の点をポイントとする。

保育実習ⅠA：○保育、乳幼児および実習園を観察し、的確な記録ができた。
○乳幼児の生活や遊びに対して、適切な関わりができた。

保育実習ⅡA：○保育、乳幼児および実習園を観察し、的確な記録ができた。
○乳幼児の生活や遊びに対して、適切な関わりができた。
○遊びなどの保育指導案を計画することができた。
○乳幼児に対して保育指導案に基づいた指導ができた。

2 事前及び事後の指導の内容等

①時期及び時間数

保育実習ⅠA：「保育実習事前事後指導A」1年次後学期
事前（30時間） 事後（5時間；課外に行く）
保育実習ⅡA：「保育実習事前事後指導A」1年次後学期
事前（30時間） 事後（5時間；課外に行く）

「保育実習事前事後指導A」は、保育実習ⅠA、保育実習ⅡAを総合して指導を行なう。

②内容（具体的な指導項目）

保育実習ⅠA：「保育実習事前事後指導A」

- 実習の目的とねらい
- 実習の段階およびその内容の理解
- 実習における課題の設定の仕方
- 事前訪問の方法
- 保育者の実務
- 保育所の環境、援助の実際
- 「絵本（又は紙芝居）読み」「手遊び」の模擬実践
- 保育の観察点と実習録の記入方法
- 実習の心構えと望ましい実習生の心得
- 本人による「自己評価」の記入と振り返り
- 実習報告会の実施 実習の反省：問題点の整理と対策（まとめ・発表・討議）
- 全体的フィードバック

○事前指導

●事後指導

保育実習ⅡA：「保育実習事前事後指導A」

- 実習の目的とねらい
- 実習の段階およびその内容の理解
- 実習における課題の設定の仕方
- 事前訪問の方法
- 責任実習と指導案
- 部分案の立案と模擬実践
- 日案の立案

- 保育の観察点と実習録の記入方法
- 実習の心構えと望ましい実習生の心得
- 本人による「自己評価」の記入と振り返り
- 実習報告会の実施 実習の反省：問題点の整理と対策（まとめ・発表・討議）
- 全体的フィードバック

3 保育実習に関して連絡調整等を行う委員会・協議会等（以下「委員会等」という。）

①大学内の各学部・学科等との連絡調整を行う委員会等

- ・委員会等の名称
 - 実習指導委員会
 - 実習支援センター
 - 教務委員会
- ・委員会等の構成員（役職・人数など）
 - 実習指導委員会（委員長1名・委員2名）
 - 実習支援センター（センター長1名・センター員4名）
 - 教務委員会（委員長1名・委員3名）
- ・委員会等の運営方法

学生の実習を円滑に進めるために、大学内に「実習指導委員会」を設置し、学生の実習に関わる諸問題について「教務委員会」や「学科会議」と連携しながら定期的に協議し、学生の実習指導を行う。また、実習先との窓口は「実習支援センター」が担う。それぞれの組織の役割と関係は次のとおりである。

それぞれの役割については、以下に示すとおりである。

学科会議

子ども教育学科として実習に関する基本的方針を決定する。また、実習受け入れ施設からの要望や苦情に対応する。

実習指導委員会

大学学部と短期大学部の実習計画を調整し、実習指導の方法について定期的に協議し改善を図る。苦情やトラブル等については、実習指導センターをとおして実習受け入れ施設と協議して解決を図る。

実習支援センター

実習指導委員会と連携を図りながら、各実習受け入れ施設に実習の依頼をする。実習に関する事務全般の業務を担当する。実習受け入れ施設から報告された些細な苦情やトラブルは、実習指導委員会の指示にしたがって対応する。

教務委員会

子ども教育学科や実習指導委員会と連携を図りながら、教育課程における実習のあり方について検討する。

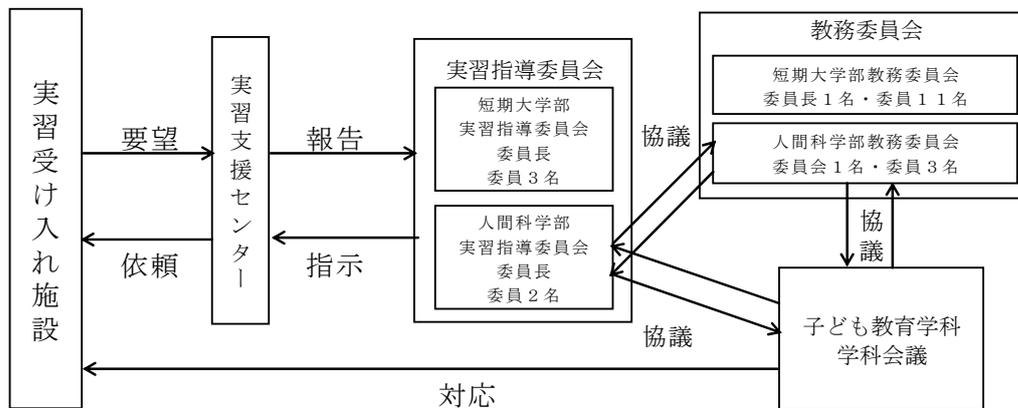


図10-1. 実習の指導体制

②大学外の関係機関（例：都道府県及び市区町村教育委員会など）との連絡調整等を行う委員会等

・委員会等の名称

○実習指導委員会

・委員会等の構成員（役職・人数など）

○実習指導委員会（委員長1名・委員2名）

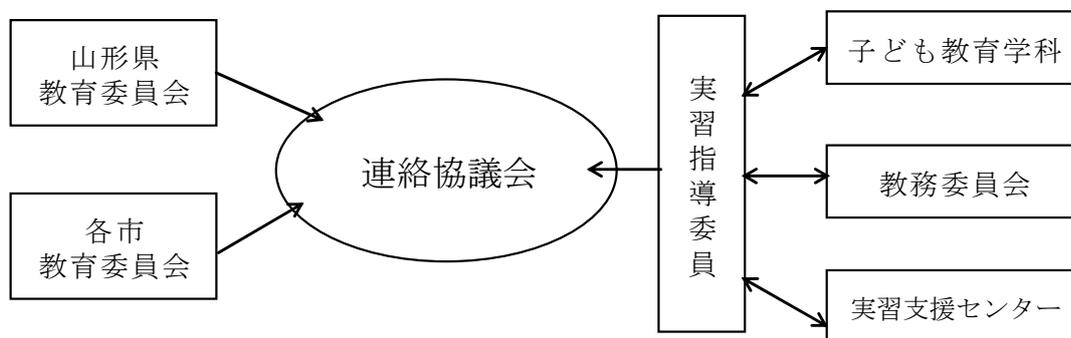
・委員会等の運営方法

実習計画の策定、実習指導の実施、実習後の問題点と課題等について、実習校と定期的に連絡協議会を開催し、実習の円滑な実施と内容の充実および実習効果の向上を図る。

小学校の教育実習に関しては、山形県教育委員会および山形市近郊の市教育委員会と実習指導委員会の教員が年2回の会議を開催する。1回目は教育実習前（6月中旬頃）に、過年度の実習の問題点と当年度の実施計画について、第2回目は教育実習後（12月中旬頃）に、当年度の実習の評価・反省、次年度の実習計画について協議する。

連絡協議会の主な協議事項は、実習内容（実習目標・実習計画・進め方、記録の記載方法）、評価方法・カリキュラム・実習指導および前年度の実習状況、評価、次年度の実施計画等に関する内容である。

【委員会の組織図】



4 保育実習の受講資格

①保育資格取得に必要な科目を履修済みまたは履修中であること。

②特に、以下にあげる科目は必要不可欠である。

保育内容研究Ⅰ、保育内容研究（健康Ⅰ）、保育内容研究（人間関係Ⅰ）、保育内容研究（環境Ⅰ）、保育内容研究（言葉Ⅰ）、保育内容研究（表現Ⅰ）、保育実習事前事後指導A、保育実習事前事後指導B、指導案研究A（保育所）

③実習指導委員会による適格性の判断の結果、保育実習に臨むに値すると認められた者

5 実習園

【施設（保育実習ⅠA・ⅡB）】

No.	人数	公	園名	所在地	〒
1	2	○	白鳩保育園	山形市春日町10-24	990-0833
2	2	○	さくら保育園	山形市東原町1丁目1-9	990-0034
3	2	○	あこや保育園	山形市鉄砲町2丁目22-33	990-2492
4	2	○	早苗保育園	山形市下条町2丁目10-27	990-0823
5	2	○	あたご保育園	山形市小白川町5丁目21-12	990-0021
6	2	○	いずみ保育園	山形市大字中野字楯494-4	990-0892
7	2	○	高楯保育園	山形市大字下東山字高瀬野4551-2	990-2232
8	2	○	すみれ保育園	山形市宮浦55	990-0848
9	2	○	美鈴保育園	山形市山家町2丁目2-7	990-0063
10	2	○	つばさ保育園	山形市幸町11-3	990-0038
11	2		つくも保育園	山形市銅町2丁目-19-1	990-0053
12	1		財団法人鉄道弘済会山形保育所	山形市上町2丁目5-36	990-2483
13	2		キンダー保育園	山形市宮町2丁目4-13	990-0057

14	2		ほほえみ保育園	山形市北山形1丁目6-5	990-0822
15	1		出羽保育園	山形市大字千手堂字沢田203-5	990-2172
16	2		杉の子保育園	山形市瀬波1丁目2-7	990-0881
17	2		キンダー南館保育園	山形市南館5丁目7-50	990-2461
18	2		山形南保育園	山形市桜田西3丁目2-4	990-2321
19	2		たんぽぽ保育園	山形市松波1丁目3-1	990-0023
20	2		たつのご保育園	山形市大字平清水字福ノ神451-11	990-2401
21	2		千歳保育園	山形市落合町字柿壇386-1	990-0075
22	1		木の実西部保育園	山形市南石関30-1	990-0836
23	2		ひまわり保育園	山形市高堂1-7-30	990-2464
24	2		南山形すくすく保育園	山形市松原159	990-2313
25	2		べにばな保育園	山形市伊達城2-9-7	990-2163
26	1		はらっぱ保育園	山形市吉原3-10-3	990-2451
27	1		マリアこまくさ保育園	山形市上桜田5-11-16	990-2421
28	2		千歳ののほな保育園	山形市花楸2-599-1	990-0067
29	2	○	みなみ保育園	上山市河崎1丁目1-45	999-3145
30	2	○	しらすぎ保育園	上山市金生東2丁目-6-54	999-3125
31	2		上山あい保育園	上山市藤吾字原1470番地の3	999-3234
32	2	○	舞鶴保育園	天童市小路1-5-11	994-0032
33	2	○	さくら保育園	天童市老野森1丁目8-3	994-0013
34	3		あけぼの保育園	天童市北久野本5-10-7	994-0011
35	1	○	安達峰一郎記念保育所	山辺町大字山辺2212	990-0301
36	2	○	なかやま保育園	中山町大字柳沢2322-1	990-0406
37	2	○	みなみ保育所	寒河江市大字島字島東181	991-0043
38	2	○	なか保育所	寒河江市山岸町4-13	991-0026
39	2	○	谷地保育所	河北町谷地字所岡1-8-6	999-3513
40	2	○	ひがしね保育所	東根市中央1丁目5-1	999-3796
41	2		興道南部保育園	米沢市本町2丁目4-47	992-0037
42	2		松ヶ岬保育園	米沢市城西1丁目5-59	992-0054
43	2		米沢中央保育園	米沢市桜木町1-75	992-0017
44	2		赤湯乳幼児保育センター	南陽市赤湯317	999-2211
45	2		宮内双葉保育園	南陽市宮内2408-40	992-0472
46	1	○	小松保育所	川西町大字上小松2903	999-0121
47	2		清水保育園	長井市清水町一丁目5番地26号	993-0054
48	2		白ゆり保育園	長井市屋城町5-15	993-0002
合計	90				

(保育実習実施計画に関する書類)

保育実習ⅠB・保育実習ⅡBの実施計画（施設実習）	
1 保育実習の内容及び成績評価等	
①保育実習の時期	保育実習ⅠB：2年次前学期 6月 保育実習ⅡB：2年次後学期 2月
②保育実習期間・総時間数	保育実習ⅠB：10日間・90時間 保育実習ⅡB：10日間・90時間
③保育実習園の確保の方法	学科専任教員が各実習生に応じた実習先を選定し、実習支援センターを通して依頼する。
④保育実習内容	保育実習ⅠB：見学・観察・参加実習 1) 見学・観察による養護の基礎理解に関すること ○実習施設の沿革や養護理念などについての理解 ○施設の機能と役割の理解 ○施設利用児・者の生活習慣とデイリープログラムの理解 ○施設利用者への理解 ○人的・物的環境の理解 ○実習施設における養護・支援計画の理解 ○施設利用児・者の養護ニーズへの理解と、最善の利益への配慮 ○保育士その他の職種の職務内容と役割の理解 ○保育士としての職業倫理の理解 ○健康予防・安全・衛生への配慮についての理解 2) 養護実践に関すること ○施設利用児・者への身の世話 ○養護面や指導面における保育士としての態度と技術の習得 ○生活面や訓練場面における見守りとサポート ○施設内における個別援助と集団援助の実践 3) 実習録に関すること ○実習録の記入・提出 4) 実習課題 ○保育士として職務を体験し、業務内容を理解すること ○施設養護の現場を体験し養護の本質を理解すること ○実践を通して施設における保育士の役割を理解すること ○生活援助や指導、訓練等に参加し、養護技術を習得すること 保育実習ⅡB：見学・観察・参加・責任実習 1) 見学・観察による養護の基礎理解に関すること ○実習施設の沿革や養護理念などについての理解 ○施設の機能と役割の理解 ○施設利用児・者の生活習慣とデイリープログラムの理解 ○施設利用者への理解 ○人的・物的環境の理解 ○実習施設における養護・支援計画の理解 ○施設利用児・者の養護ニーズへの理解と、最善の利益への配慮 ○保育士その他の職種の職務内容と役割の理解 ○保育士としての職業倫理の理解 ○健康予防・安全・衛生への配慮についての理解 ○入所施設と通所施設の違いについての理解 2) 養護実践に関すること ○養護面や指導面における保育士としての態度と技術の習得

- 生活面や訓練場面における見守りとサポート
- 施設内における個別援助と集団援助の実践
- 設定遊び・自由遊び・レクリエーションの展開
- 指導案または支援計画の立案と実践
- 3) 実習録に関すること
 - 実習録の記入と提出
- 4) 実習課題
 - 保育士として職務を体験し、業務内容を理解すること
 - 施設養護の現場を体験し養護の本質を理解すること
 - 実践を通して施設における保育士の役割を理解すること
 - 生活援助や指導、訓練等に参加し、養護技術を習得すること
 - 指導案または支援計画を立案し、計画に基づいて実践すること
 - 実践を通して自己課題を明確にすること

⑤保育実習生に対する指導の方法

保育実習担当教員が実習期間中に実習園を巡回し、担当の保育者との打合せを経て、指導を行う。

⑥保育実習の成績評価

保育実習担当教員が実習期間中に実習施設を巡回し、指導担当者との打合せを経て、指導を行う。実習施設からの評価(50%)と保育実習担当教員・学科教員による実習録の評価(40%)および実習報告会(10%)を合算した総合評価(100%)で行う。なお、その際以下の点をポイントとする。

保育実習ⅠB：○養護場面を観察し、的確な記録ができた
 ○施設利用児・者と適切な関わりができた
 ○施設養護の現場を体験し養護の本質と保育士の役割を理解できた

保育実習ⅡB：○養護場面を観察し、的確な記録ができた
 ○施設利用児・者と適切な関わりができた
 ○施設利用児・者の実状に合った指導案や支援計画を立案することができた
 ○施設利用児・者に対して指導案や支援計画に基づいた養護実践ができた

2 事前及び事後の指導の内容等

①時期及び時間数

保育実習ⅠB：「保育実習事前事後指導B」 2年次前学期
 事前(25時間) 事後(5時間)
 保育実習ⅡB：「保育実習事前事後指導B」 2年次前学期
 事前(25時間) 事後(5時間；課外で行う)

「保育実習事前事後指導B」は、保育実習ⅠB、保育実習ⅡBを総合して指導を行なう。

②内容(具体的な指導項目)

保育実習ⅠB：「保育実習事前事後指導A」

- 実習の目的とねらい
- 実習の段階およびその内容の理解
- 実習における課題の設定の仕方
- 事前訪問の方法
- 施設における保育者の実務
- 施設の種類、援助の実態
- 養護の観察点と実習録の記入方法
- 実習の心構えと望ましい実習生の心得
- 本人による「自己評価」の記入と振り返り
- 実習報告会の実施 実習の反省：問題点の整理と対策(まとめ・発表・討議)
- 全体的フィードバック

○事前指導
●事後指導

保育実習ⅡB：「保育実習事前事後指導B」

- 保育実習ⅡBの目的とねらい
- 実習の段階およびその内容の理解

- 実習における課題の設定の仕方
- 事前訪問の方法
- 通所施設ならびに施設利用児・者への理解
- 指導案や支援計画の立案
- 養護の観察点と実習録の記入方法
- 実習の心構えと望ましい実習生の心得
- 本人による「自己評価」の記入と振り返り
- 実習報告会の実施 実習の反省：問題点の整理と対策（まとめ・発表・討議）
- 全体的フィードバック

3 保育実習に関して連絡調整等を行う委員会・協議会等（以下「委員会等」という。）

①大学内の各学部・学科等との連絡調整を行う委員会等

- ・委員会等の名称
 - 実習指導委員会
 - 実習支援センター
 - 教務委員会
- ・委員会等の構成員（役職・人数など）
 - 実習指導委員会（委員長1名・委員2名）
 - 実習支援センター（センター長1名・センター員4名）
 - 教務委員会（委員長1名・委員3名）
- ・委員会等の運営方法

学生の実習を円滑に進めるために、大学内に「実習指導委員会」を設置し、学生の実習に関わる諸問題について「教務委員会」や「学科会議」と連携しながら定期的に協議し、学生の実習指導を行う。また、実習先との窓口は「実習支援センター」が担う。それぞれの組織の役割と関係は次のとおりである。

それぞれの役割については、以下に示すとおりである。

学科会議

子ども教育学科として実習に関する基本的方針を決定する。また、実習受け入れ施設からの要望や苦情に対応する。

実習指導委員会

大学学部と短期大学部の実習計画を調整し、実習指導の方法について定期的に協議し改善を図る。苦情やトラブル等については、実習指導センターをとおして実習受け入れ施設と協議して解決を図る。

実習支援センター

実習指導委員会と連携を図りながら、各実習受け入れ施設に実習の依頼をする。実習に関する事務全般の業務を担当する。実習受け入れ施設から報告された些細な苦情やトラブルは、実習指導委員会の指示にしたがって対応する。

教務委員会

子ども教育学科や実習指導委員会と連携を図りながら、教育課程における実習のあり方について検討する。

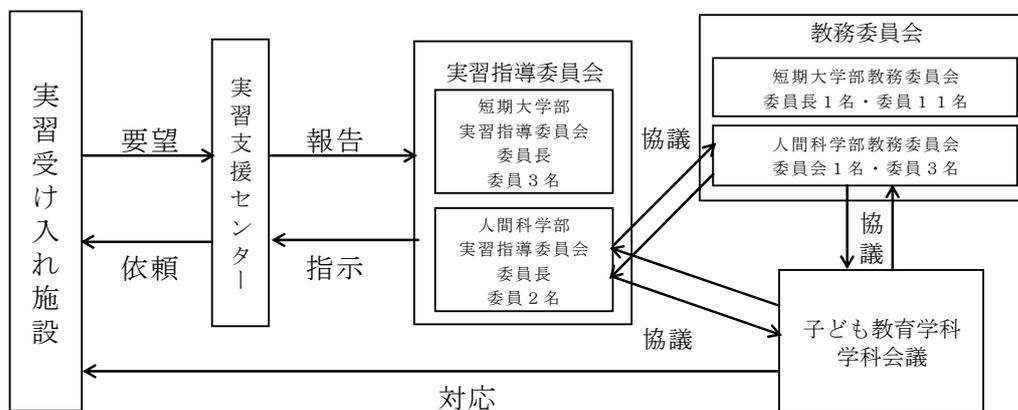


図10-1. 実習の指導体制

②大学外の関係機関（例：都道府県及び市区町村教育委員会など）との連絡調整等を行う委員会等

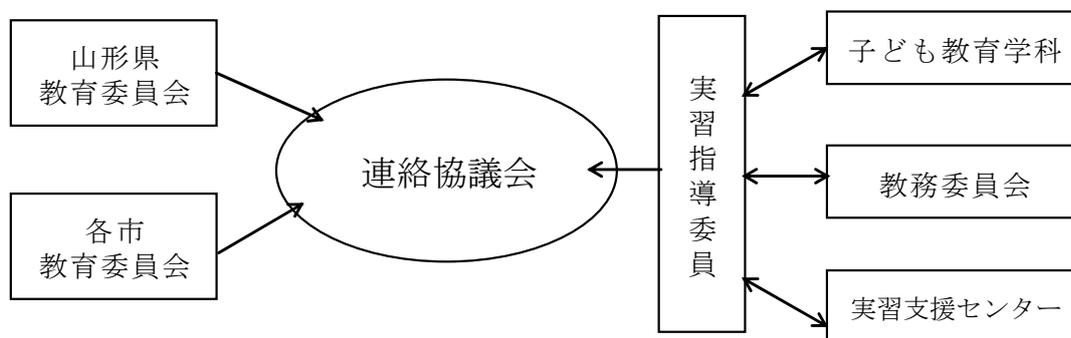
- ・委員会等の名称
 - 実習指導委員会
- ・委員会等の構成員（役職・人数など）
 - 実習指導委員会（委員長1名・委員2名）
- ・委員会等の運営方法

実習計画の策定、実習指導の実施、実習後の問題点と課題等について、実習校と定期的に連絡協議会を開催し、実習の円滑な実施と内容の充実および実習効果の向上を図る。

小学校の教育実習に関しては、山形県教育委員会および山形市近郊の市教育委員会と実習指導委員会の教員が年2回の会議を開催する。1回目は教育実習前（6月中旬頃）に、過年度の実習の問題点と当年度の実施計画について、第2回目は教育実習後（12月中旬頃）に、当年度の実習の評価・反省、次年度の実習計画について協議する。

連絡協議会の主な協議事項は、実習内容（実習目標・実習計画・進め方、記録の記載方法）、評価方法・カリキュラム・実習指導および前年度の実習状況、評価、次年度の実施計画等に関する内容である。

【委員会の組織図】



4 保育実習の受講資格

- ①保育資格取得に必要な科目を履修済みまたは履修中であること。
- ②特に、以下にあげる科目は必要不可欠である。
 社会福祉、児童福祉、養護原理Ⅰ、養護原理Ⅱ、養護内容Ⅰ、養護内容Ⅱ、社会福祉援助技術Ⅰ、社会福祉援助技術Ⅱ、障害児保育、保育実習事前事後指導A、保育実習事前事後指導B
- ③実習指導委員会による適格性の判断の結果、教育実習に臨むに値すると認められた者

5 実習園

【施設(保育実習ⅠB)】

No.	人数	公	園名	所在地	〒
1	2	○	山形県立総合療育訓練センター	山形県上山市河崎3-7-1	999-3145
2	3	○	鶴岡乳児院	山形県鶴岡市道形町49-6	997-0013
3	2		七窪思恩園	山形県鶴岡市大字下川字窪畑1-288	997-1117
4	3		双葉荘	山形県新庄市大字萩野字横根山80-1	999-5102
5	3	○	山形学園	山形県山形市蔵王上野字南坂924	990-2303
6	2		寒河江学園	山形県寒河江市字下河原224-1	991-0002
7	2	○	興望館	山形県米沢市太田町4-1-153	992-0035
8	3		国立病院機構山形病院	山形県山形市行才126-2	990-0876
9	2	○	鳥海学園	山形県飽海郡遊佐町大字藤崎字茂森14-178	999-8437
10	2	○	最上学園	山形県新庄市松本55-1	996-0051
11	2	○	やまなみ学園	山形県長井市今泉1812	993-0033
12	2		最上ふれあい学園	山形県最上郡最上町大字富沢4467	999-6105
13	3		水明苑	山形県北村山郡大石田町大字横山4042-3	999-4121

14	2		新生園	山形県尾花沢市大字荻袋911-1	999-4552
15	3		向陽園	山形県山形市大字長谷堂4687	990-2363
16	3		山形育成園	山形県上山市金谷字金ヶ瀬1111	999-3103
17	2		白鷹陽光学園	山形県西置賜郡白鷹町大字山口408	992-0774
18	3	○	総合コロニー希望が丘	山形県東置賜郡川西町大字下小松2045-20	999-0134
19	2		らふらんす大江	山形県西村山郡大江町大字左沢1277	990-1101
20	3		松風園	山形県米沢市万世町梓山5494-1	992-1122
21	2		光風学園	山形県酒田市宮野浦3-21-28	998-0054
22	2	○	吹浦荘	山形県飽海郡遊佐町大字菅里字菅野南山21-14	999-8531
23	3		栄光園	山形県米沢市万世町梓山5493-1	992-1122
24	3	○	愛光園	山形県鶴岡市大字藤沢字軽井沢68	997-0751
25	3		秋田赤十字乳児院	秋田県秋田市広面字釣瓶町100-3	010-0041
26	2	○	県南愛児園 ドリームハウス	秋田県横手市横山町1-1	013-0044
27	3	○	秋田県心身障害者コロニー	秋田県由利本荘市西目町出戸字孫七山3-2	018-0602
28	3	○	やまばと園	秋田県湯沢市稲川町飯田字二ツ森43	012-0133
29	2	○	宮城県啓佑学園	宮城県仙台市泉区南山5-2-1	981-3213
30	3		ステップ(栗原秀峰会)	宮城県栗原市金成梨崎道ノ上7-1	989-5172
31	3		はんとく苑	宮城県登米市米山町字桜岡貝待井34-1	987-0311
32	2		高松園	宮城県気仙沼市唐桑町只越366-5(先心会本部事務局)	988-0524
33	2		第二高松園	宮城県気仙沼市唐桑町只越366-6(先心会本部事務局)	988-0524
34	2		第二共生園	宮城県東松島市大塩字逆川122-55	981-0505
35	2		旭が丘学園	宮城県気仙沼市館山2-2-32	988-0076
36	2		ラ・サール・ホーム	宮城県宮城野区東仙台6-12-2	983-0833
37	2		仙台天使園	宮城県仙台市太白区茂庭台4-1-30	982-0252
合計		90			

【施設(保育実習ⅡB)】

No.	人数	公	園名	所在地	〒
1	2	○	こまくさ学園	山形県山形市蔵王半郷1366-2	990-2305
2	2	○	はまなし学園	山形県酒田市住吉町10-24	998-0029
3	2		山形ひかり学園	山形県上山市金谷字金ヶ瀬1111	993-3103
4	2		根っ子杉	山形県鶴岡市藤の花1-20-1	999-7601
5	2	○	まんさくの丘(恵光園)	山形県山形市蔵王半郷1366-2	990-2305
6	2		友愛園	山形県新庄市堀端町8-3	996-0085
7	3		大けやきの家	山形県村山市楯岡新町3-2-1	995-0033
8	3		こずもずの家	山形県東根市野川2074-103	960-2262
9	2		天童ひまわり園	山形県天童市大字矢野目字沼田129-2	994-0071
10	2		上山いずみの家	山形県上山市東町3-31	999-3121
11	2		寒河江共労育成園	山形県寒河江市柴橋字平野2950-158	991-0063
12	2		いちょうの家	山形県南陽市宮内1266-1	992-0472
13	2		せせらぎの家	山形県長井市成田町屋川原1026-1	993-0075
14	2		さくらんぼの家	山形県米沢市吾妻町4-25	992-0034
15	2	○	北部児童館	山形県山形市大字灰塚字北塚木106	990-2174
16	2	○	南部児童館	山形県山形市桜田西四丁目1-29	990-2321
17	2	○	東部児童館	山形県山形市大字滑川ヒトコ1355-1	990-0014
18	2	○	西部児童館	山形県山形市大字柏倉43	990-2341
19	2		鶴岡中央児童館	山形県鶴岡市苗津町1-1	997-0809
合計		40			

資料 2 1. 編入学学生の科目読替表

読替表（A短期大学において幼稚園教諭二種免許・保育士資格を取得した場合）

区分	A短期大学の授業科目	単位数	子ども教育学科における読替科目	単位数	認定の上限
基礎教育科目	基礎演習Ⅰ	1	基礎ゼミⅠ	1	12
	基礎演習Ⅱ	1	基礎ゼミⅡ	1	
	卒業研究	2	応用ゼミⅠ	1	
			応用ゼミⅡ	1	
	倫理学	2	くらしと倫理学	2	
	日本国憲法	2	くらしと憲法	2	
	天文学	2	人間と宇宙を考える	2	
	英語コミュニケーション	2	英語コミュニケーションⅠ	1	
			英語コミュニケーションⅡ	1	
	スポーツサイエンスⅠ	1	スポーツサイエンスⅠ	1	
	スポーツサイエンスⅡ	1	スポーツサイエンスⅡ	1	
	情報処理基礎	2	コンピューター基礎演習	1	
		コンピューター応用演習	1		
専門教育科目	幼児理解と問題	2	幼児理解の理論と方法	2	42
	発達心理学	2	発達心理学	2	
	小児保健Ⅰ	2	小児保健Ⅰ	2	
	小児保健Ⅱ	2	小児保健Ⅱ	2	
	小児保健実習	1	小児保健実習	1	
	小児栄養Ⅰ	1	小児栄養Ⅰ	1	
	小児栄養Ⅱ	1	小児栄養Ⅱ	1	
	保育内容研究	2	保育内容研究Ⅰ	1	
			保育内容研究Ⅱ	1	
	子どもの生活と育ち ※1	1	保育内容研究（健康Ⅰ） ※1	1	
	子どもの遊びと育ち	1	保育内容研究（人間関係Ⅰ）	1	
	子どもの姿と遊び	1	保育内容研究（環境Ⅰ）	1	
	子どもの遊び	1	保育内容研究（言葉Ⅰ）	1	
	自然と体験	1	保育内容研究（表現Ⅰ）	1	
	体験と表現	1			
	乳児保育Ⅰ	1	乳児保育Ⅰ	1	
	乳児保育Ⅱ	1	乳児保育Ⅱ	1	
	障害児保育	1	障害児保育	1	
	養護原理Ⅰ	2	養護原理Ⅰ	2	
	養護原理Ⅱ	2	養護原理Ⅱ	2	
	養護内容	1	養護内容Ⅰ	1	
	音楽A	1	音楽Ⅰ	1	
	音楽B	1	音楽Ⅱ	1	
	造形A	1	図画工作Ⅰ	1	
	造形B	1	図画工作Ⅱ	1	
	体育A	1	体育Ⅰ	1	
	体育B	1	体育Ⅱ	1	
	保育原理	4	保育原理Ⅰ	2	
			保育原理Ⅱ	2	
	保育指導研究法	2	保育指導法総論	2	
	児童福祉	2	児童福祉	2	
	教育原理	2	教育原理	2	
保育課程総論	2	教育課程総論	2		
教育制度	2	教育制度論	2		
教員の職務と意義	2	教職概論	2		
教育心理学	2	教育心理学	2		
専門発展科目	総合演習	2	総合演習	2	8
	家族援助論	2	家族援助論	2	
	精神保健	2	精神保健	2	
	社会福祉	2	社会福祉	2	
	社会福祉援助技術Ⅰ	1	社会福祉援助技術Ⅰ	1	
	社会福祉援助技術Ⅱ	1	社会福祉援助技術Ⅱ	1	
	実習内容研究Ⅱ	1	保育実習事前事後指導A	1	
	実習内容研究Ⅲ	1	保育実習事前事後指導B	1	
	保育実習Ⅰ（保育所）	2	保育実習ⅠA	2	
	保育実習Ⅰ（施設）	2	保育実習ⅠB	2	
	保育実習Ⅱ どちらか		保育実習ⅡA どちらか		
	保育実習Ⅲ 選択	2	保育実習ⅡB 選択	2	
	実習内容研究Ⅰ	1	教育実習事前事後指導A	1	
	教育実習Ⅰ	2	教育実習Ⅰ	2	
	教育実習Ⅱ	2	教育実習Ⅱ	2	

※1 A短期大学の6科目を子ども教育学科の5科目と読替える

資料 2 2 . 編入学学生の履修モデル

A 短期大学において幼稚園教諭 2 種免許・保育士資格を取得し編入の場合

区分	1 年次・2 年次 (A短期大学)	3 年次	4 年次	卒業要件	単位
	6 2 単位認定	3 5 単位	2 7 単位		
基礎教育科目	基礎演習 I 基礎演習 II 卒業研究 日本国憲法 英語コミュニケーション スポーツサイエンス I スポーツサイエンス II 情報処理基礎	くらしと経済 環境問題を考える マルチメディア演習	社会教育を考える 生命と環境を考える	16 単位以上	21 単位
専門教育科目	幼児理解と問題 発達心理学 小児保健 I 小児栄養 I 保育内容研究 子どもの生活と育ち 子どもの遊びと育ち 子どもの姿と遊び 子どもの遊び 自然と体験 体験と表現 障害児保育 養護原理 I 養護内容 I 音楽 A 音楽 B 造形 A 造形 B 体育 A 体育 B 保育原理 保育指導研究法 児童福祉 教育原理 保育課程総論 教育制度 教員の職務と意義 教育心理学	保育内容研究 (健康 II) 保育内容研究 (言葉 II) 保育内容研究 (環境 II) 保育内容研究 (人間関係 II) 保育内容研究 (表現 II) 教育の方法と技術 教職実践演習 A 国語 I 国語 II 算数 I 算数 II 図画工作科教育法	理科 I 理科教育法 生活 I 生活 II 生活科教育法	22 単位以上	71 単位
専門発展科目	総合演習 家族援助論 社会福祉 精神保健	卒業研究 I 卒業研究 II 子育て支援論 地域と多文化 子育て支援実践 学習心理学	卒業研究 III 卒業研究 IV 教育相談 ボランティア活動 地域社会とボランティア 地域文化論 地域社会史	12 単位以上	32 単位
計				1 2 4 単位	

資料 2 3 授業改善アンケート

授業改善アンケート調査(学生用)

FDネットワーク “つばさ”

この調査は、授業改善のために、受講したこの授業についての意見を伺うものです。
回答内容は成績評価とはまったく関係がありませんので正直にお答えください。

記入上の注意

- 1 この用紙は、表面（選択回答欄）と裏面（自由記述欄）に分かれています。
- 2 質問順に従って、回答してください。
- 3 記入は、HまたはHBの鉛筆を使用してください。
- 4 訂正は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないでください。
- 5 所定欄以外にはマークしたり、記入したりしないでください。
- 6 汚したり、折り曲げたりしないでください。

◎所属分類：下欄に記入し、右欄にマークしてください。		百の位	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
分類A：学校名・コード		十の位	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
学校名	学校コード	一の位	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
分類B：学部(学科)名・コード		十の位	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
学部(科)名	学部(科)コード	一の位	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
分類C：自由設定（不使用の際は空欄）		十の位	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
名	コード	一の位	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

◎この授業科目の時間割コードを記入してください。 下欄に記入し、右欄にマークしてください。	千の位	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
時間割コード	百の位	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
	十の位	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
	一の位	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

あなたについて教えてください。		十の位	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
○入学年度は、平成何年ですか。下欄に記入し、右欄にマークしてください。	入学年度 平成	一の位	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
○性別を教えてください。			男	女								

◎この授業の全般的な点について教えてください。		第一理由	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
質問1 この授業を履修した動機を強い順に3つ選択してください。		第二理由	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
		第三理由	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
①この授業に関心があったから ②単位が取り易そうだから ③教員に魅力があったから ④友達が多く履修しているから ⑤自分の専門に関係が深い分野だから ⑥幅広い教養を身につけるため ⑦先輩に薦められたから ⑧他の授業で断られたので仕方なく ⑨必修だから ⑩その他												
質問2 (あなたは)この授業を何回欠席しましたか。	0回	1回	2回	3回	4回以上							

*以下の質問に次の5段階で教えてください。
5：はい 4：まあそうである 3：どちらとも言えない 2：あまりそうとは言えない 1：いいえ

質問3 この授業を意欲的に受講しましたか。	5	4	3	2	1
質問4 内容を理解できましたか。	5	4	3	2	1
質問5 考え方、能力、知識、技術などの向上に得るところがありましたか。	5	4	3	2	1
質問6 シラバスに授業の目標や授業計画は具体的に示されていましたか。	5	4	3	2	1
質問7 シラバスに成績評価基準と評価方法は具体的に示されていましたか。	5	4	3	2	1
質問8 教員に熱意は感じられましたか。	5	4	3	2	1
質問9 教え方(教授法)はわかりやすかったですか。	5	4	3	2	1
質問10 教員の一方的な授業ではなく、コミュニケーションはとれていましたか。	5	4	3	2	1
質問11 授業はよく準備されていましたか。	5	4	3	2	1
質問12 教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	5	4	3	2	1
質問13 板書や配布物、提示資料は読みやすかったですか。	5	4	3	2	1
質問14 教員は教室内の勉学の環境を良好に保つよう、配慮していましたか。	5	4	3	2	1
質問15 オプション(授業担当教員から指示があります)	5	4	3	2	1
質問16 この授業を総合的に判断すると良い授業だと思いますか。	5	4	3	2	1

※調査項目は裏面にもあります。

作成：山形大学

◎以下は自由記述欄です。思ったことを書いてください。

質問17 この授業で良かったと思う点を書いてください。

質問18 この授業で良くなかったと思う点, 改善すべきと思う点を書いてください。

質問19 オプション (授業担当教員から指示があります)

御協力ありがとうございました。